

第3章 学びあい心ふれあう都市づくり

○達成度一覧

3-1 人の魅力でまちが輝く生涯学習都市 ～10 施策				
大項目	中項目	小項目	担当課	施策の達成度
生涯学習のまちづくり	市民の主体的な学習活動の支援	連携・協働体制の充実	教)企画総務課、生涯学習課	A
		学習機会の整備	生涯学習課	B
		市民参加機会の拡大	生涯学習課	B
		普及・啓発活動の推進	生涯学習課	B
	多様な市民活動のネットワークづくり	情報、相談、支援の拠点の整備	生涯学習課	A
		あらゆる学習機能を有機的に結びつけるネットワークづくり	生涯学習課	B
	人材の育成と活用	まちづくりに資する人材の育成、自立と連帯感のある人材の育成	市民協働推進課	A
		学びあい、教えあう人材の活用システムの構築	生涯学習課	B
	学校・社会教育の充実	学校教育活動の充実と学校開放の推進	生涯学習課、学校教育課、スポーツ課	B
		学習機会の拡充と学習成果の活用	生涯学習課	B

3-2 豊かな心と人間性を育む教育文化都市 ～95 施策				
大項目	中項目	小項目	担当課	施策の達成度
幼稚園教育の振興	教育機会の充実	幼稚園就園の奨励	教)企画総務課	A
		弾力的な幼稚園運営の促進	教)企画総務課	A
	幼稚園教育の充実	教職員研修の充実	教)企画総務課	A
		施設設備の充実	教)企画総務課	A
	幼稚園・小学校の連携の促進	教育機能の相互理解の推進	教)企画総務課	B
小中学校教育の充実	教育機会の拡充	大規模校の解消	教)企画総務課	A
		小規模校の教育機会の充実	学校教育課	A
		就学支援の充実	学校教育課	A
		通学手段の充実	学校教育課	A
	開かれた学校づくりの推進	学校教育と社会教育の融合化	学校教育課	A
		地域に開かれた学校運営の推進	学校教育課	A
		学校・家庭・地域の連携	青少年課	B
	教育活動の充実	特色ある教育課程の確立	学校教育課	A
		心の教育の推進	学校教育課	A
		食育の推進	学校教育課	A
		幼稚園(保育所)・小学校・中学校・高等学校の連携強化	学校教育課	A
		情報化や国際化に対応した教育の推進	学校教育課、教)企画総務課	A
		環境教育の推進	学校教育課	A
		地域教育資源の活用	学校教育課	A
		児童生徒の豊かな人間形成の推進	学校教育課	A
防犯教育の充実	学校教育課	A		
教育相談、指導の充実	青少年課	B		

小中学校教育の充実	快適な学校施設などの整備、充実	学校施設・設備などの整備、充実	教)企画総務課	A
		ゆとりとのおいのある学習環境づくり	教)企画総務課	A
		安全な学校づくりの推進	教)企画総務課	A
		学校施設耐震化の推進	教)企画総務課	A
	教職員の研修・福利厚生	教職員の研修活動の推進	学校教育課	B
		教職員の福利厚生	学校教育課	B
保健・体育の充実	保健・体育の充実	学校体育の充実	学校教育課	A
		学校保健、安全教育の推進	学校教育課	A
	学校給食の充実	衛生管理体制の強化	給食センター	A
		給食施設の充実	給食センター	A
		学校給食指導の推進	学校教育課、給食センター	A
特殊教育の充実	教育機会の拡充	障害児などの就学機会の拡充	学校教育課、障がい者支援課	A
		就学指導と就学支援の充実	学校教育課	A
		訪問教育対象者への支援の充実	学校教育課	A
	教育活動の充実	交流教育、体験学習の充実	学校教育課	A
		進路指導の充実	学校教育課	A
	学校施設・設備などの整備	学校施設・設備などの整備	教)企画総務課	A
	理解・啓発活動の推進	理解・啓発活動の推進	学校教育課	A
高等学校教育の充実	教育機会の拡充	適正な入学定員の確保	教)企画総務課	A
		修学支援の充実	教)企画総務課	A
	時代や地域ニーズに応える教育の促進	時代や地域ニーズに応える学科の充実	教)企画総務課	A
		教育内容の充実	教)企画総務課	A
		高等学校と地域の交流・連携の促進	教)企画総務課	A
高等教育の充実	大学・試験研究機関の整備	国際的な学術研究拠点の形成	科学技術振興課	B
	多様な高等教育機会の確保	各種専門教育機関の育成・誘致	教)企画総務課	A
		修学支援の充実	教)企画総務課	A
社会教育の充実	学習機会の充実	地域課題などに関する学習機会の充実	生涯学習課	B
		高齢者の学習、世代間交流機会の充実	生涯学習課	B
		国際化に対応した学習機会の充実	生涯学習課	B
		男女共同参画を促す学習機会の充実	生涯学習課	B
		青少年の学習機会の充実	生涯学習課	B
	学習支援体制の充実	学習活動団体・サークルなどの育成	生涯学習課	B
		生涯学習活動の促進	生涯学習課	A
		民間指導者、リーダーの育成	生涯学習課	B
	社会教育施設の整備・充実	利用者の立場に立った施設の整備	文化施設課、スポーツ課	A
		社会教育施設のネットワーク化	生涯学習課、文化施設課	A
	心を育てる家庭教育の充実	家庭教育力の向上	生涯学習課	B
		父親の家庭教育への参加促進	生涯学習課	B
	公民館機能の充実	公民館の運営体制の充実	文化施設課	A
		公民館事業の充実	文化施設課	A
	図書館機能の充実	図書館の市内全域サービス化の推進	文化施設課	A
図書館資料の整備・充実		文化施設課	A	
図書館情報システムの充実		文化施設課	B	
市民文化の創造	文化活動に親しむ機会の拡充	芸術文化鑑賞機会の拡充	文化施設課	B
		芸術文化活動への参加機会の拡充	文化施設課、生涯学習課	A
		芸術文化活動の情報提供の充実	文化施設課、生涯学習課	B
		文化施設の整備	文化施設課	B

市民文化の創造	芸術文化活動の促進	市民の芸術文化活動の促進	文化施設課、生涯学習課	B
		芸術文化関係団体、サークルなどの育成	生涯学習課	B
	特色ある文化活動の推進	「千歳らしい」文化活動の推進	文化施設課、生涯学習課	B
文化財の保護と活用	ふるさと風土とのふれあいの推進	自然や歴史、文化にふれあう場の整備	埋蔵文化財センター	A
		自然や歴史、文化にふれあう機会の拡充	埋蔵文化財センター	A
	埋蔵文化財の保護と活用	埋蔵文化財の発掘調査と整備、活用	埋蔵文化財センター	A
		埋蔵文化財の調査研究、保存管理、公開の推進	埋蔵文化財センター	A
	伝統文化の保存と継承	伝統文化の保存と継承・理解の促進	埋蔵文化財センター	A
		アイヌ文化の保護と継承・理解の促進	埋蔵文化財センター	A
スポーツの振興	生涯スポーツの推進	生涯スポーツの普及・啓発	スポーツ課	A
		スポーツクラブ・団体活動の支援	スポーツ課	A
		広域的なスポーツ活動の推進	スポーツ課	A
	スポーツ指導体制の充実	スポーツ指導者の育成と組織の充実	スポーツ課	B
		新たなスポーツの開発、指導	スポーツ課	A
	スポーツ施設の整備	スポーツ施設の整備	スポーツ課	B
		施設運営の充実	スポーツ課	B
		スポーツ施設のネットワーク化	スポーツ課	B
	青少年の健全な育成	青少年健全育成活動の推進	青少年健全育成活動の推進	生涯学習課
青少年組織の育成と活動の支援			生涯学習課	B
青少年の活動施設の整備			文化施設課、青少年課	B
青少年を取り巻く社会環境の整備		青少年を取り巻く環境浄化対策の推進	青少年課	A
青少年の非行防止と指導体制の充実		青少年指導センター活動の充実	青少年課	A
		青少年の相談活動の充実	青少年課	B
自然環境を生かした体験活動の推進		自然体験、科学探求活動の充実	生涯学習課	A
		学社融合プログラムの開発と施設整備	生涯学習課	B
		野外体験学習機会の充実	生涯学習課	B

3-3 人とふれあう北の交流都市 ～10 施策				
大項目	中項目	小項目	担当課	施策の達成度
人と地域が育む国際交流の推進	国際交流都市としての基盤づくり	国際化に対応する都市機能の整備	市民協働推進課	C
		世界に開かれた交流事業の推進	市民協働推進課	A
	市民による国際交流の推進	国際性豊かな人材の育成	市民協働推進課、学校教育課	A
		ホスピタリティあふれる受け入れ体制の整備	市民協働推進課	B
		市民交流、国際協力の事業展開	市民協働推進課	A
	外国人が暮らしやすいまちづくり	快適な生活環境の創出	市民協働推進課	B
		学習環境と相談体制の充実	市民協働推進課	B
多様な地域間交流の推進	多様な交流ネットワークの形成	多様な交流ネットワークの形成	市民協働推進課、観光振興課、農業振興課	B
	交流企画の推進	魅力ある交流企画の推進	スポーツ課、観光振興課、生涯学習課	B
		大会、会議などの誘致	観光振興課、市民協働推進課	B

3-1 人の魅力でまちが輝く生涯学習都市

(1) 生涯学習のまちづくり

「基本方向」

①市民の主体的な学習活動の支援

市民の生涯学習への参加意識や関心を高めていくとともに、市民の主体的な学習活動を支援するための条件整備や学習機会の総合調整、市民・企業・行政の連携・協働体制の確立などを進め、総合的な生涯学習の支援システムの構築を図ります。

「基本方向を実現させるための施策」

■連携・協働体制の充実 教) 企画総務課、生涯学習課

* 市民協働の会議運営による千歳市の教育を考える市民会議では、本市の特性を生かした新たな教育の在り方等を検討し、20 項目からなる提言書として平成 19 年 2 月に答申された。また、この提言を具体的に推進するため、平成 20 年度から 22 年度を期間とする推進計画書を平成 20 年 4 月に策定しており、担当の各部署において目標達成に向けて取り組むとともに、推進計画の各施策については、年次計画における取組実績、実施課題、次年度以降の方針等を関係各課に調査することにより、進捗状況を管理した。

* 千歳市の教育を考える市民会議からの提言では、子育てに関する家庭、地域、企業等の役割か子どもの育成に関する理念を市民が共有し、それぞれが責任を持って子育てに取り組み、あるいは、支援するなどについて、普及啓発活動の充実に努めることとした。

* 生涯学習推進体制については、市民の学習活動の場と機会の充実と一人ひとりの生涯学習活動を協働による「まちづくり」として推進するものとして、「千歳学出前講座」の実施や、市民活動交流センター「ミナクール」の設置を行った。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	計画事業の実施率	98.4 (H20)	98.4	98.4	100.0	%	98.4

指標の説明

1：全事業（64 事業）のうち提言を具体化した事業の割合（計画期間 H20～22）

〈 施策の達成度：A 〉

* 成果指標は理想的な指標であり、その目標値をほぼ達成したほか、千歳市の教育を考える市民会議からの提言により、子育て支援などについて普及啓発活動の充実に努めたことから、A 評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■学習機会の整備 生涯学習課

* 学習機会の整備については、生涯学習に関する施設や資源・人材・事業などの情報をデータベース化し、市及び「ミナクール」のホームページに出前講座、社会教育関係団体、イベント、各種講座など生涯学習に関する情報の提供を行った。また、計画の策定時における各種生涯学習事業の体系整理及びパソコン講習会など各部署が所管する事業との連携や統合を図った。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	出前講座開催数	405	378	410	400	回	102.5
2	生涯学習活動支援に対する市民の満足度	80.1	79.4 (H20)	—	↑	%	—

指標の説明

1：千歳学出前講座の年間開催数

2：市民アンケートで「生涯学習の情報や機会の提供」に満足・やや満足・普通と回答した人の割合

〈 施策の達成度：B 〉

* 学習機会の情報提供については、市及び「ミナクル」のホームページ等により実施しており、「千歳学出前講座」の年間開催数については、その目標値を達成することができた。また、各種生涯学習事業の体系整理や統合を図った。しかし、市民アンケート未実施により市民の満足度が判断できないが、満足度が減少傾向にあることから、B評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■ 市民参加機会の拡大 生涯学習課

* 市民参加機会の拡大については、多種多様な市民ニーズや現代的課題に対応するため、企業・市民・行政が連携した出前講座や市民主体のふるさとポケットの実施により、市民の学習活動を支援したほか、道民カレッジ講座などの民間主催の講座も開催された。

* 千歳学出前講座では、市民が専門性を活かして講師を務める「市民編」、市内に存する事業所等が業務の内容を紹介する「仕事編」、市が市政に関する情報提供を行う「市役所編」から構成され、幼児領域から高齢者領域まで市民と市民の学びあいによる学習活動や交流の活発化を図った。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	出前講座受講者数	15,748	12,919	15,000	14,000	人	107.1

指標の説明

1：千歳学出前講座の受講者数

〈 施策の達成度：B 〉

* 市民の自主的な学習活動への取組を支援する「千歳学出前講座」の受講者数については、その目標値を達成できたが、年度により増減が見られ、一定の増加傾向にないことから、B評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■ 普及・啓発活動の推進 生涯学習課

* 普及・啓発活動については、市民・企業・行政が連携した各種イベントをはじめ、交流会、講習会など様々な取組を通じて、市民の生涯学習への理解と意識の高揚を図った。なかでも、生涯学習まちづくりフェスティバル「ふるさとポケット」事業については、青少年から高齢者までが参加する市民協働事業として道内屈指のイベントとなっており、青葉公園を会場として多くの市民団体によるチャレンジ広場、お国自慢味処などの出展や絵画展、活動成果の発表など、市民主体による活気にあふれた祭典となった。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	ふるさとポケットの来場者数	20,000	17,000	18,000	20,000	人	90.0
2	ふるさとポケットの参加団体数	53	40	41	41	団体	100.0

指標の説明

1：生涯学習まちづくりフェスティバル「ふるさとポケット」の来場者数

2：生涯学習まちづくりフェスティバル「ふるさとポケット」の参加団体数

〈 施策の達成度：B 〉

* イベントを通じて、生涯学習のまちづくりへの理解と意識の高揚を図る「ふるさとポケット」の来場者数については、おおむねその目標値を達成できたが、参加団体やスタッフ数に増加が見られなかったことから、B評価とした。

「基本方向」

②多様な市民活動のネットワークづくり

生涯学習活動やボランティア活動、NPO活動など市民団体による各種活動へのハード・ソフト両面からの支援を進め、市民が主体となり相互に交流・連携した市民活動のネットワークづくりを促進します。

「基本方向を実現させるための施策」

■情報、相談、支援の拠点の整備 生涯学習課

- * 情報、相談、支援の拠点整備については、平成 18 年 8 月に千歳市民活動交流センター（愛称「ミナクール」）を開設し、市民活動やまちづくりへのアドバイスや情報提供などを行った。
- * ミナクールは、文化やスポーツ活動団体をはじめ、子育てや高齢者のサークル、県人会や市内のNPOなど、活動ジャンルも幅広く、団体・サークルの打ち合わせや会議、活動情報の収集や発信、チラシや会報づくりなどに活用され、気軽に利用できる施設として大変好評であった。また、平成 20 年度に協働事業として、ミナクール運営協議会による施設運営を開始するとともに、ミナクール通信や市民活動講座の実施などの自主事業を開始した。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	市民活動交流センター整備事業進捗率	0	100	100	100	%	100.0

指標の説明

1：市民活動交流センター整備事業の総事業費に対する完了事業費の割合（H18 整備済）

〈 施策の達成度：A 〉

- * 生涯学習活動の拠点施設として、センター機能を提供する千歳市民活動交流センター「ミナクール」は、平成 18 年 8 月に開設し、整備済みであることから、A 評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■あらゆる学習機能を有機的に結びつけるネットワークづくり 生涯学習課

- * 学習機能のネットワークづくりについては、市民の主体的な生涯学習を支援するため、市民活動の支援拠点施設である千歳市民活動交流センター（愛称「ミナクール」）と連携して、生涯学習に関する施設や資源・人材・事業などの情報収集を行うとともにネットワーク化を進め、市及び「ミナクール」のホームページ等に出前講座情報、社会教育関係団体、イベント、各種講座情報などの提供を行うなど、施設の有効活用を図った。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	市民活動交流センターの活用数	4,786 (H18)	8,423	8,500	9,000	人	94.4

指標の説明

1：市民活動交流センター「ミナクール」を活用した延べ人数（H18 供用開始）

〈 施策の達成度：B 〉

- * 市民の主体的な生涯学習活動を支援する拠点施設である「ミナクール」を活用した延べ人数については、年々増加傾向にあり、その目標値をほぼ達成することができた。しかし、ホームページの充実など、さらに効率的・効果的に学習機会の提供を図る必要があると判断したことから、B 評価とした。

「基本方向」

③人材の育成と活用

地域における人材の発掘を進めるとともに、まちづくりに対する自主性を持った市民の育成や活用に努めます。また、生涯学習の観点に立った職員研修や育成プログラムの開発に努めます。

「基本方向を実現させるための施策」

■まちづくりに資する人材の育成、自立と連帯感のある人材の育成 市民協働推進課

- *まちづくりに資する人材の育成については、市民協働を推進するための推進役が不可欠であることから、『みんなで進める千歳のまちづくり条例』において、市民協働の原則の一つとして、「市民協働の担い手となる人材の育成」を規定した。
- *「みんなで、ひと・まちづくり基金」を活用して、市内で活動する市民活動団体と市が連携して、まちづくりにつながる事業を企画・実施する「協働事業」制度を創設、実施したほか、市民等が自主的に行うまちづくりにつながる事業を応援する「ひと・まちづくり助成事業」を実施し、実践を通して、まちづくりに資する人材の育成を図った。
- *市民向け市民協働講座の実施や、審議会委員等における市民公募、まちづくりに関するワークショップの実施などを通して、まちづくりに資する新たな人材の発掘や育成、活用を図った。
- *協働する職員を育成するため、平成19年度から特別研修として市民協働研修を実施し、市民協働の重要性に対する認識と協働の実践を促した。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	みんなで、ひと・まちづくり基金活用事業数	5 (H19)	13	10	10	件	100.0

指標の説明

1：みんなで、ひと・まちづくり基金を活用して実施した事業の数

〈 施策の達成度：A 〉

- *代替指標「みんなで、ひと・まちづくり基金活用事業数」については、目標値を達成することができた。また、市民向け市民協働講座を受講した市民が、市民活動や、協働事業、ひと・まちづくり助成事業などの取組に対しては実践者として、又、審議会や市民会議等においては委員として参加するケースも増加したことから、A評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■学びあい、教えあう人材の活用システムの構築 生涯学習課

- *多様な人材の活用については、学習活動や文化・スポーツ活動などを通じて、各種人材の育成確保に努め、社会教育関係団体や千歳学出前講座「市民編」、人材バンクへの登録事業や子ども活動支援ボランティア、子育てサポートボランティア、スポーツ指導員等の活用を図った。また、絵画・音楽・書道などの文化活動、野球・サッカーなどのスポーツ活動の団体・サークルの情報及び人材情報を市ホームページなどで提供し、多様な人材のネットワークづくりを行った。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	社会教育関係登録団体数	322	357	375	370	団体	101.4

指標の説明

1：市民活動を行う社会教育関係の登録団体数

〈 施策の達成度：B 〉

* 市民の自主的な学習活動や社会参加活動を支援するために登録する社会教育関係団体の登録数については、その目標値を達成することができた。しかし、学びあい教えあうためには、千歳学出前講座「市民編」への講座提供がさらに必要であると判断したことから、B評価とした。

「基本方向」

④学校・社会教育の充実

生涯学習の基礎となる学校教育活動の充実を図るとともに、地域に根ざした生涯学習のため学校開放の推進に努めます。また、生涯各期に応じた学習機会などの拡充を図るとともに、学習の成果が活用できる環境づくりに努めます。

「基本方向を実現させるための施策」

■学校教育活動の充実と学校開放の推進 生涯学習課、学校教育課、スポーツ課

- * 学校教育活動の充実については、各学校において学習指導要領に従い、生涯にわたる学習の基礎を培い自ら学び自ら考える力を育成するため、各教科や総合的な学習の時間などで体験的な学習や問題解決的な学習を実施した。また、各小中学校において学校評議員を設置し、地域住民や保護者等からの意見を学校運営に反映させ、開かれた学校づくりを進めた。
- * 地域における生涯学習の推進に向けて、地域住民の支援による学習・スポーツ・文化活動の機会及び学年や世代を超えた交流の機会を提供する「放課後子ども教室」や学校を核とした地域活動を実践する機会を提供する「学校支援地域本部事業」を行った。
- * 学校施設を社会体育の普及、幼児・児童の安全な遊び場および地域開放の施設として活用するため、体育館、校庭などを学校教育に支障のない範囲で、幼児、児童、生徒およびその他一般市民に開放した。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	学校支援ボランティア登録者数	54 (H20)	125	122	130	人	93.8

指標の説明

1：放課後子ども教室・学校支援地域本部事業の支援者登録数（H20 開始）

〈 施策の達成度：B 〉

- * 学校を核とした地域活動を実践する機会を提供する「放課後子ども教室」と「学校支援地域本部事業」の支援者登録数については、ほぼその目標値を達成できたが、一定の増加傾向にないことから、B評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■学習機会の拡充と学習成果の活用 生涯学習課

- * 学習機会の拡充については、多種多様な市民ニーズ等に対応するため、市民編・仕事編・市役所編から構成される出前講座メニューの充実に努め、小中学生、社会人、高齢者、婦人等多くの年代の市民にさまざまな内容の学習機会を提供した。
- * 学習成果を生かす環境づくりについては、文化活動団体やスポーツ活動団体等の社会教育関係団体や人材の登録、千歳学出前講座「市民編」における講座の提供、また、学校を核とした地域活動等、市民が自らの資格や技能、学んだ成果を活用し、ボランティアや指導者として活動できる機会を提供した。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	出前講座のメニュー数	225	238	238	240	件	99.2

指標の説明

1：出前講座（市民編・仕事編・市役所編）の登録メニュー数

〈 施策の達成度：B 〉

- * 学習機会の充実と学習成果の活用を図る「千歳学出前講座」の登録メニュー数については、おおむねその目標値を達成できたが、さらに拡充する必要があると判断したことから、B評価とした。

3-2 豊かな心と人間性を育む教育文化都市

(1) 幼稚園教育の振興

「基本方向」

①教育機会の充実

幼児期は人間形成の基礎を培う重要な時期であることから、就園を希望する幼児が適切な教育を受けられるよう地域の実態に応じた幼稚園教育の機会の拡充に努めます。

「基本方向を実現させるための施策」

■幼稚園就園の奨励（教）企画総務課

*幼稚園就園奨励費補助については、保護者の負担軽減や幼稚園の安定運営を図るため、市内10か所の全ての私立幼稚園に国庫補助（文科省）による支援を行った。なお、新たな宅地開発が進んでいる地区においては幼児数の増加が見込まれるものの、市全体では就園者数が認可定員を下回ったことから、当面は既存幼稚園の充実を図る。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	幼稚園就園率	63.5	65.1	66.1	66.0	%	100.2

指標の説明

1：対象幼児（3歳～5歳児）の就園率

〈 施策の達成度：A 〉

*成果指標は理想的な指標であり、その目標値を達成したほか、市内10か所の全ての私立幼稚園に国庫補助による支援を行ったことから、A評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■弾力的な幼稚園運営の促進（教）企画総務課

*弾力的な幼稚園運営については、多様化する保護者の就労形態などに対応するため、市内10園において、通常教育時間の開始前と終了後をはじめ、幼稚園の休業日や長期休業期間中（春、夏、冬休み）のいずれかの預かり保育を行った。また、国による3歳未満児の幼稚園早期入園事業の特例措置は平成19年度末をもって廃止となったが、平成20年度からも引き続き、幼稚園を活用した子育て支援としての2歳児受け入れを支援するため、就園奨励費補助金を2歳児に拡大して交付した。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	預かり保育実施率	100	100	100	100	%	100.0

指標の説明

1：時間外保育等を実施している幼稚園の割合

〈 施策の達成度：A 〉

*成果指標は理想的な指標であり、その目標値を達成したほか、就園奨励費補助金の拡大を行ったことから、A評価とした。

「基本方向」

②幼稚園教育の充実

関係機関の連携や教職員の資質向上、ゆとりある教育環境の整備などにより、幼稚園の教育内容の充実を促します。

「基本方向を実現させるための施策」

■教職員研修の充実 教) 企画総務課

* 幼稚園の教職員研修については、時代の進展に応じた教職員の継続的・効果的な研修や自主研修を推進するため、千歳市私立幼稚園連合会に対し、連合会が主催する教職員研修費の一部を助成した。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	教職員の研修参加率	97 (H20)	89	88	90	%	97.8

指標の説明

1: 千歳市私立幼稚園連合会が主催する教職員研修の参加割合

〈 施策の達成度: A 〉

* 成果指標は理想的な指標であり、その目標値をほぼ達成したほか、教職員の継続的・効果的な研修や自主研修を推進するため、職員研修費の一部助成を行ったことから、A評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■施設設備の充実 教) 企画総務課

* 市内の幼稚園(10園)は、すべて私立幼稚園となっており、幼稚園の施設整備については、園舎の建築・増改築に係る建設資金借入金の利子補給を行い、施設整備の充実を促した。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	整備支援した幼稚園率	100	100	申請なし	100	%	—

指標の説明

1: 整備に関わる利子補給申請に対し実際に支給した割合

〈 施策の達成度: A 〉

* 幼稚園の施設整備の充実のため、利子補給申請があった場合には適切に対応したことから、A評価とした。

「基本方向」

③幼稚園・小学校の連携の推進

幼児の連続的な成長と健全な育成を図るため、幼稚園と小学校の連携を推進し教育機能の相互理解や交流の機会を充実します。

「基本方向を実現させるための施策」

■教育機能の相互理解の推進 教) 企画総務課

*幼稚園と小学校の連携については、教育機能の相互理解や交流機会の充実のため、小学校では特色ある教育活動の一環として小学生による幼稚園への訪問交流を行った。また、教員同士の交流会議などが実施されたほか、中高生の職業体験なども行った。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	小学校と交流を行っている幼稚園率	80	80	80	100	%	80.0

指標の説明

1：小学校と交流会や連携会議等を行っている幼稚園の割合

〈 施策の達成度：B 〉

*成果指標は理想的な指標であり、その目標値をおおむね達成したほか、教員同士の交流会議などが実施されたことから、B評価とした。

(2) 小中学校教育の充実

「基本方向」

①教育機会の拡充

児童生徒の良好な教育環境を確保するため学校規模の適正化を推進します。また、小規模校における教育内容の充実や、就学困難な児童生徒に対する就学支援など教育機会の拡充に努めます。

「基本方向を実現させるための施策」

■大規模校の解消 教) 企画総務課

* 国において小中学校の標準学級数は12～18学級と定められているが、富丘中学校の学級数は平成23年度現在で24学級と、標準を大きく上回っており、市内中学校唯一の大規模校となっている。この富丘中学校の生徒数増加による学校施設の狭隘化を解消し、教育環境の改善を図るため、富丘中学校に仮設校舎をリース(H19～H24)で借上げるとともに、平成24年度の開校を目指し、分離新設校となる勇舞中学校の建設工事に着手した。

* 北陽小学校については、平成19年度に校舎の増築を行ったが、この地域は、現在も区画整理事業による宅地開発が進行しており、児童についても増加傾向にある。平成24年度以降は、普通教室が不足することが想定されることから、リース方式による校舎の借上げを実施して対応することとしている。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	大規模解消に向けた取組件数	1 (H19)	1	1	1	件	100.0
2	勇舞中学校建設事業進捗率	0.3 (H19)	30.5	40.0	40.0	%	100.0

指標の説明

1：大規模校解消に向けた取組件数（H19 分離校新設決定）

2：勇舞中学校建設事業の総事業費に対する完了事業費の割合（H19～富丘中仮設校舎リース、H21 分離校基本構想策定、H24 開校予定）

〈 施策の達成度：A 〉

* 大規模校解消のための取組を継続して実施しており、成果指標「大規模解消に向けた取組件数」及び「勇舞中学校建設事業進捗率」の目標値を達成したことから、A評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■小規模校の教育機会の充実 学校教育課

* 小規模校の教育機会の充実については、それぞれ他校との授業交流や小規模校合同の芸術鑑賞や修学旅行を行い、集団学習や集団活動を体験する機会を創出した。小規模校を含め、市内の各校では、地域の特性を生かした特色ある教育を進めた。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	合同事業参加率	100	100	100	100	%	100.0

指標の説明

1：小規模校（3校）のうち合同事業に参加した学校の割合

〈 施策の達成度：A 〉

*小規模校では他校との交流や合同の芸術鑑賞などを実施し、成果指標「合同事業参加率」は、その目標値を達成したことから、A評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■就学支援の充実 学校教育課

*就学支援については、他市の状況も研究しながら当市の基準を定めており、経済的な理由により就学が困難な家庭に対し、義務教育を受けるために必要な学用品費、給食費等の経費の一部援助を行った。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	経済的理由で就学出来ない児童生徒数	0	0	0	0	人	100.0
2	就学支援している児童・生徒数	3,935	4,516	4,037	4,100	人	98.5

指標の説明

- 1：経済的理由等により就学出来ない児童生徒数
2：学用品費等の援助を行っている延べ児童・生徒数

〈 施策の達成度：A 〉

*支援対象となる家庭の経済的理由等の事業を踏まえ、他の自治体における支援内容とも均衡を図りながら基準を定め適切な措置に努めた結果、成果指標である経済的理由で就学出来ない児童生徒はいなかったことから、A評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■通学手段の充実 学校教育課

*通学や移動手段の確保を図るため、学校までの距離が小学校で2km、中学校で4km以上ある場合等において、スクールバス運行基準に照らし、対象者の条件に見合った児童生徒のスクールバス通学を実施した。また、学校プール未設置校についてはプール学習時等にバスの運行を行った。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	スクールバスを利用できない児童生徒数	0	0	0	0	人	100.0

指標の説明

- 1：通学やプール教室の移動時にスクールバスが利用できなかった生徒数

〈 施策の達成度：A 〉

*遠距離通学する児童生徒のためスクールバスを運行し、スクールバスが利用できない児童生徒はいなかったことから、A評価とした。

「基本方向」

②開かれた学校づくりの推進

学校教育と社会教育の融合化に努めるとともに、地域教育資源の活用など、地域に開かれ地域と一体となった学校運営を推進します。

「基本方向を実現させるための施策」

■学校教育と社会教育の融合化 学校教育課

* 学校教育と社会教育の融合については、各学校の総合的な学習の時間等において、郷土文化や地域資源を活用した授業を展開したほか、各教科等における体験学習の実施では、社会教育施設や出前講座（ゲストティーチャー）等を活用し、学校教育と社会教育の連携を図った。また、学校評議員を配置し学校運営について意見等に基づき開かれた学校づくりに取り組んだ。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	社会教育資源を活用している学校の割合	100	100	100	100	%	100.0

指標の説明

1：小中学校 26 校のうち社会教育施設や出前講座を活用している学校の割合

〈 施策の達成度：A 〉

* 各学校において、社会教育施設や出前講座を活用した教育が進められ、成果指標「社会教育資源を活用している学校の割合」はその目標値を達成したことから、A評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■地域に開かれた学校運営の推進 学校教育課

* 学校、家庭、地域が連携した開かれた学校づくりについては、平成 13 年度に設置した学校評議員などを活用し、教育目標、学校評価、いじめ、不登校など、多岐にわたるアドバイスや意見に基づきながら、保護者や地域の意向を学校経営に反映させるとともに、学校評価の積極的な公開や学校施設の開放などを推進した。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	情報開示が進んでいる学校数	—	26	26	26	校	100.0

指標の説明

1：学校関係者による評価結果で学校の情報開示が進んでいると認められた学校数（H21 開始）

〈 施策の達成度：A 〉

* 地域の方による学校評議員を活用し、開かれた学校づくりを進め、成果指標の情報開示が進んでいる学校数は、その目標値を達成したことから、A評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■学校・家庭・地域の連携 青少年課

* 犯罪や事故などから児童生徒を守るための学校、地域、家庭の連携については、学校における通学路の安全点検や安全マップの作成、地域における千歳っ子見守り隊や子ども 110 番の家などの安全対策を行ったほか、犯罪から身を守る防犯知識や飲酒、喫煙、薬物乱用の有

害性や危険性についても正しく理解し、身につけるよう指導した。また、不審者情報については、各学校、関係機関へのファックス通知、市ホームページや携帯電話サイトへの掲載に加え、平成20年度からは携帯電話やパソコンの電子メールを活用し、希望する保護者などへ提供し、犯罪被害の未然防止に向けた取組を行った。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	千歳っ子見守り隊登録者数	1,124 (H18)	1,169	1,122	1,170	人	95.9

指標の説明

1：千歳っ子見守り隊に登録している市民の数（H18 開始）

〈 施策の達成度：B 〉

*安全マップの作成などの安全対策を行ったほか、不審者情報の周知を強化し、犯罪被害の未然防止に向けた取組を行った。また、成果指標「千歳っ子見守り隊登録者数」は、目標の約96%となっている。しかし、地域により、その活動に差があったことから、B評価とした。

「基本方向」

③教育活動の充実

国際化・情報化・高齢化・価値観の多様化など社会の変化に対応した教育や児童生徒の心を育む教育を充実するほか、地域の特性と各学校の創意・工夫を生かした特色ある教育活動や環境教育などを推進します。また、一貫した学習指導や生活指導などを行うため、幼稚園（保育所）・小学校・中学校・高等学校における連携強化に努めます。

「基本方向を実現させるための施策」

■特色ある教育課程の確立 学校教育課

*総合的な学習の時間の教育活動については、子供たちが自ら学び、自ら考え、表現する学習の場として、各小中学校が創意工夫しながら、グローバルスクール活動事業に取り組んでおり、姉妹都市との交流、アイヌ文化学習、職業体験などのキャリア教育の実施等を行った。また、千歳科学技術大学との連携では、同大学が開発したeラーニングシステムの使用とそのシステムを自宅でも活用できるe-カレッジを実施したほか、各学校が総合的な学習の時間に取り組んだ成果を発表し合うサイエンス会議を大学の支援を受けて実施した。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	特色ある教育課程の編成に取り組んでいる学校の割合	100	100	100	100	%	100.0

指標の説明

1：小中学校 26 校のうち特色ある教育課程を編成している学校の割合

〈 施策の達成度：A 〉

*総合的な学習の時間は各小中学校において創意工夫しながら様々な活動が行われたほか、eラーニングシステムの活用など、児童生徒の学ぶ意欲向上に向けた取組を行った。また、成果指標「特色ある教育課程の編成に取り組んでいる学校の割合」については、その目標値を達成したことから、A評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■心の教育の推進 学校教育課

*心の教育については、道徳の時間をはじめ、各教科、特別活動、総合的な学習の時間で実施するボランティア活動、異学年交流、職業体験などの学校の教育活動全般を通して、児童生徒に命の大切さ、思いやる心、そして自分自身を見詰め直すことなど、人との接し方や関わり、そして、社会の基本的なルールの習得に向けた心の教育を実施した。いじめ問題については、「人を傷つけたり、危害を加えたりすることが、人間として絶対許されない行為である」ことを強く指導し、命の大切さと人を思いやる心の教育を推進した。

*子供たちの読書への関心や意欲を高めるため、朝読書、読み聞かせ、読書週間、学校図書館の充実などの取組を実施し、国語力の向上や本との出会いの中から新たな自分の発見にもつながった。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	心の教育に取り組んでいる学校の割合	100	100	100	100	%	100.0

指標の説明

1：小中学校 26 校のうち心の教育に取り組んでいる学校の割合

〈 施策の達成度：A 〉

* 道徳の時間をはじめ、学校の教育活動全般を通して心の教育を推進し、成果指標「心の教育に取り組んでいる学校の割合」についてはその目標値を達成したことから、A評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■食育の推進 学校教育課

* 食育の推進については、給食の時間を中心に、関連教科や特別活動、総合的な学習の時間などで実施した。給食指導では、食べ物の大切さや、バランスよく食事をとることなどについての指導を行い、自分の健康を考えて自己管理ができるような態度や能力の育成を図ったほか、学校栄養教諭による学校給食におけるバランスのとれた献立づくり、調理指導、衛生管理業務、食に関する指導などを行った。

* 家庭科では、調理実習などを通して、家庭生活への関心や、正しい食生活による健康、安全への意識づけを行った。さらに総合的な学習の時間では、食に関する課題を設定し、自分たちの生活と農業や漁業との関連性を学習したほか、日本や世界の食文化など、広く食育についての関心や理解が深まるよう取り組んだ。特に、米や野菜を子供たちが自ら育て、収穫し、調理する取組については、ほとんどの小学校で実践した。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	食育に取り組んでいる学校の割合	100	100	100	100	%	100.0

指標の説明

1：小中学校 26 校のうち食育に取り組んでいる学校の割合

〈 施策の達成度：A 〉

* 給食の時間や、総合的な学習の時間において食育についての関心や理解が深まるよう取り組み、成果指標「食育に取り組んでいる学校の割合」はその目標値を達成したことから、A評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■幼稚園（保育所）・小学校・中学校・高等学校の連携強化 学校教育課

* 学校間の連携については、幼稚園・小学校・中学校・高等学校をはじめ、市内外の学校、特別支援学校等の各学校や校種間での情報交換、小学生による幼稚園への訪問交流など実践交流が促進されており、児童・生徒の心身の発達段階に応じた適切な教育を推進するため、学習指導要領に従った教育課程編成や生活指導・生徒指導などにおける校種間の連携を図った。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	連携強化に取り組んでいる学校の割合	100	100	100	100	%	100.0

指標の説明

1：小中学校 26 校のうち連携強化に取り組んでいる学校の割合

〈 施策の達成度：A 〉

* 一貫性のある教育を推進するため、市内外の学校、特別支援学校等の各学校や校種間での情報交換や交流を行い、成果指標「連携強化に取り組んでいる学校の割合」はその目標値を達成したことから、A評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■情報化や国際化に対応した教育の推進 学校教育課、教)企画総務課

- * 情報化に対応した教育については、高度情報化通信ネットワークの構築に伴い、子供たちがコンピュータやインターネットを活用して情報社会に主体的に対応できる情報活用能力を育成するため、市内全小中学校に教育用コンピュータ機器を配置したコンピュータ教室を整備し、教員や生徒がコンピュータを活用できる環境整備に取り組んだ。学校図書館については、図書基準の達成を目指し、図書の購入を進めるとともに、市立図書館の蔵書を学校に移管するなど、図書の充実を図った。
- * 国際化に対応した教育については、児童生徒のコミュニケーション能力等の向上を図るため、市内小学校では、平成23年4月からの外国語活動(英語)の必修化を視野に、総合的な学習の時間を利用して、英語に堪能な市民講師や外国人英語指導助手による授業を行うとともに、平成21年度から一部小学校の英語学習においては、地域の人材を活用した市民協働事業を実施した。また、中学校では、国の事業で招致した英語指導助手を配置するなど、国際感覚を養う授業を展開した。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	英会話授業を実施している小学校数	17	17	17	17	校	100.0

指標の説明

1：市民講師等による英会話授業を実施している小学校数

〈 施策の達成度：A 〉

- * 市内全小中学校にコンピュータ教室を整備し、情報活用能力の育成を図った。また、英語に堪能な市民講師や外国人英語指導助手による英会話授業を行い、成果指標「英会話授業を実施している小学校数」はその目標値を達成したことから、A評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■環境教育の推進 学校教育課

- * 環境教育については、市内各小中学校で、総合的な学習の時間や理科、社会の授業を通じて環境教育を実施し、地球温暖化の防止に関する出前講座を授業に取り入れたほか、千歳科学技術大学と連携して実施するサイエンス会議においては、それらの学習成果を研究テーマとして発表する学校も多く、子供たちの環境問題への意識が高まった。
- * ジュニア・エイトサミットを契機として、学校関係者及びPTA等で実行委員会を組織し、「環境」等をテーマとした市内小中学校児童生徒等による「ちとせっ子未来フォーラム」を開催した。
- * 関連部署との連携した取組としては、こども環境教室の開催、出前講座での講演及び児童生徒を対象に「こども環境白書」を配布したほか、環境保全意識の高い児童生徒を奨励する「エコ・カレッジ制度」を設けた。また、ごみ減量・リサイクル標語コンクールの実施やリサイクルの仕組みを紹介した小冊子等の配布を行い、環境保全意識を高めた。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	環境教育に取り組んでいる学校の割合	100	100	100	100	%	100.0

指標の説明

1：小中学校 26 校のうち環境教育に取り組んでいる学校の割合

〈 施策の達成度：A 〉

* 学校内外において各種環境教育を実施したほか、成果指標「環境教育に取り組んでいる学校の割合」はその目標値を達成したことから、A評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■地域教育資源の活用 学校教育課

* 地域の教育資源の活用については、各学校で地域の自然や人材などの教育資源を生かした特色ある教育活動が行われており、各教科や総合的な学習の時間においては、海外の学校との作品交流、相互訪問交流のほか交通安全キャンペーン、職業体験及び地域の方々との茶道、陶芸、料理、農園活動、ボランティア活動など、地域・家庭・関係機関と連携した実践的な教育を行った。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	地域教育資源を活用している学校の割合	100	100	100	100	%	100.0

指標の説明

1：小中学校 26 校のうち地域教育資源を活用している学校の割合

〈 施策の達成度：A 〉

* 各学校で地域の自然や人材などの教育資源を生かした特色ある教育活動が行われ、成果指標「地域教育資源を活用している学校の割合」はその目標値を達成したことから、A評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■児童生徒の豊かな人間形成の推進 学校教育課

* 児童生徒の豊かな人間形成の推進については、学校教育活動全般を通じて、道徳教育、ボランティアや地域の活動への参加、体験的な活動等の充実を図ったほか、児童生徒一人ひとりの健全な人格を形成するための指導や文化活動・体育活動への参加機会を拡充するための支援を行った。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	文化活動等に取り組んでいる学校の割合	100	100	100	100	%	100.0

指標の説明

1：小中学校 26 校のうち文化活動等に取り組んでいる学校の割合

〈 施策の達成度：A 〉

- * 課外活動を奨励し、豊かな人間形成を推進したほか、児童生徒一人ひとりの健全な人格を形成するための指導を行った。また、成果指標「文化活動等に取り組んでいる学校の割合」はその目標値を達成したことから、A評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■防犯教育の充実 学校教育課

- * 防犯教育については、平成15年2月に、文部科学省が学校への不審者侵入時の危機管理マニュアルを作成したことから、市内各小中学校においても、校内の安全管理体制の充実や安全教育、防犯訓練の実施についての危機管理マニュアルを作成し、平成17年度には、改めて千歳市の学校安全対策要領を定めた。
- * 防犯対策では、防犯ブザー所持の励行や知らない人にはついていかない、知らない車には乗らない、また、不審者や事件・事故などに遭遇したときは、緊急避難場所として110番の家のステッカーが張ってある商店や事業者などに駆け込んで助けを求めるよう指導した。また、小学校では地域安全マップを作成し、通学路の危険箇所等を児童、保護者に周知した。さらには、総合的な学習の時間や特別活動の中で、防犯協会等の協力による防犯教室（訓練）を実施し、児童生徒の発達段階に応じ、自らを守る力を身につけさせた。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	不審者・事件等発生件数	61	28	32	↓	件	—

指標の説明

- 1：児童生徒が不審者や事故等に遭遇した件数

〈 施策の達成度：A 〉

- * 防犯協会等の協力による防犯教室の開催など、防犯教育を進め、成果指標「不審者・事件等発生件数」は長期的には減少傾向にあることから、A評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■教育相談、指導の充実 青少年課

- * 教育相談や指導については、問題行動、いじめ、不登校等の解決に向けて早期解決と未然防止を図るため、専門的な知識と経験を有するスクールカウンセラーや身近な相談相手としての心の教室相談員を配置するなど相談体制の充実強化を行った。スクールカウンセラーは児童・生徒ほか、保護者や教員の悩みについて相談に応じ、助言や心のケアを行った。
- * 学校適応指導教室おあしすでは、不登校の児童生徒に対する学校復帰及び社会復帰の支援を学校と連携しながら取り組んだ。また、学校・家庭・地域・教育機関などが課題や情報を共有し、連携することが重要であることから、千歳市いじめ・不登校等対策会議、さわやかday いじめシンポジウム、千歳市不登校対策研修会等の会議を開催した。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	不登校の児童生徒数	112	86	77	78	人	101.3
2	相談業務月平均開設時間数	162	450	450	450	時間	100.0

指標の説明

- 1：毎月出席すべき日数の半分以上欠席した児童生徒数
 2：スクールカウンセラー・心の教室相談員による相談業務の月間開設時間数

〈 施策の達成度：B 〉

* 成果指標についてはその目標値を達成しており、スクールカウンセラーや心の教室相談員などの相談体制の充実やいじめシンポジウムなどの成果が現れてきていると考えられる。しかしながら、減少傾向にある不登校問題も複雑化・長期化しているケースもあることから、B評価とした。

「基本方向」

④快適な学校施設などの整備充実

社会の変化に対応した学習活動を推進するための学校施設・設備などの整備を図るとともに、特色ある学校づくり、ゆとりとうるおいのある学習環境づくりを推進します。

「基本方向を実現させるための施策」

■学校施設・設備などの整備、充実 教) 企画総務課

* 学校施設・設備などの整備については、児童生徒の情報教育を推進するため、市内全小中学校にコンピュータ教室を設置したほか、学校図書については文部科学省が策定した「新学校図書館図書整備5か年計画」に基づき、計画的に整備を進めた。また、理科教育設備については、文部科学省の補助を受け、理科備品の整備を行った。

* 学校施設の維持管理については、現在、市内小学校17校、中学校9校の26校（うち小中併置2校）の、児童生徒等が日常の学校生活を快適に過ごせるよう、迅速な小破修繕、計画的に行う屋上防水や校舎・講堂の外壁塗装などの施設改修を実施し、施設の延命を図ったほか、計画的に小中学校耐震化推進事業、小中学校大規模改修事業、小中学校防音機能復旧事業、小中学校共同受信区域アンテナ設置事業等を実施した。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	修繕・業務支援要望に対する実施率	96.7	90.3	95.0	100.0	%	95.0

指標の説明

1: 修繕・業務支援等の要望に対して実施した割合

〈 施策の達成度：A 〉

* 成果指標「修繕・業務支援要望に対する実施率」についてはその目標値をほぼ達成した。また、全小中学校にコンピュータ教室を設置したほか、学校図書及び理科教育設備についても計画的に整備を進めたことから、A評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■ゆとりとうるおいのある学習環境づくり 教) 企画総務課

* ゆとりとうるおいのある学習環境づくりについては、各学校の余裕教室を学校の中での利用にとどまらず、地域の社会教育施設、児童・社会福祉のためのスペースとして活用するため、余裕教室を資料室、展示室（学校博物館）、特別教室等へ転用するとともに、各学校の計画に沿って多目的に活用した。また、緑小学校、向陽台小学校、末広小学校、北陽小学校においては、学童クラブを設置し活用を図った。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	余裕教室の活用率	—	100 (H20)	100	100	%	100.0
2	小・中学校の教育環境に関する市民の満足度	74.3	71.1	—	↑	%	—

指標の説明

1: 有効に活用されている教室の割合

2: 市民アンケートで「小・中学校の教育環境」に満足・やや満足・普通と回答した人の割合

〈 施策の達成度：A 〉

* ゆとりとうるおいのある学習環境づくりのため、各学校の余裕教室を資料室等へ転用し、成果指標「余裕教室の活用率」は、その目標値を達成したことから、A評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■安全な学校づくりの推進 教) 企画総務課

* 安全な学校づくりについては、子供たちの快適で安全な学校環境を維持するため、各小中学校では、耐震化改修工事や大規模改修を行うなど、計画的な施設の改善・改修を行った。

* 学校の危機管理や防犯の対策については、危機管理マニュアルを作成するとともに、各学校にはオートロックやカメラつきインターホンの設置、教室内への防犯ブザーの配置、さすまたの配備、児童生徒への安全教育、防犯教室などを行ったほか、学校外では千歳っ子見守り隊を中心とした安全対策を行った。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	防犯設備整備率	100	100	100	100	%	100.0

指標の説明

1: カメラ付きインターホン、さすまた等の防犯設備を整備した学校の割合

〈 施策の達成度：A 〉

* 学校施設の計画的な施設の改善・改修を行ったほか、成果指標「防犯設備整備率」はその目標値を達成したことから、A評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■学校施設耐震化の推進 教) 企画総務課

* 学校施設の耐震化については、市内の公共建築物の中でも最優先に取り組むこととし、国が示す耐震基準を保ち安全性を確保するため、昭和 56 年以前に建築された小中学校 16 校の耐震化を平成 17 年度から順次実施し、平成 25 年度までの完了に向けて計画的に進めている。また、平成 15 年の耐震調査や事業実施の優先度調査の結果及び財源の確保、制度改正等を踏まえながら、学校の耐震化計画の見直しを行うとともに、耐震化事業の整備期間として、1 年目に耐震の 2 次診断、2 年目に実施設計、3 年目に補強工事という、1 校につき 3 年間の対応で実施した。なお、当初計画の耐震化対象校数については、平成 20 年度に二次診断を実施した結果、文部科学省の基準値を満たしている 2 校を除いた 15 校に変更した。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	耐震補強実施済み小中学校数	0	6	8	8	校	100.0

指標の説明

1: 耐震補強を実施した学校の累計数

〈 施策の達成度：A 〉

* 成果指標は理想的な指標であり、その目標値を達成したことから、A評価とした。

「基本方向」

⑤教職員の研修・福利厚生 of 充実

小中学校における実践的指導力の強化を図るため、教職員の研修の充実に努めるとともに、健康管理など福利厚生 of 充実を図ります。

「基本方向を実現させるための施策」

■教職員の研修活動の推進 学校教育課

*教職員の研修については、教員の指導力や資質を向上させるため、北海道教育委員会と連携して、初任者研修、教職経験者研究協議会、10年経験者研修等の教職員研修事業を実施したほか、当市の教員については、自己研鑽等の機会の充実を図るため、学校や研究機関に研修活動の促進に向けた支援を行った。なお、主な研修活動としては、小・中学校とともに、同じ教科を教える教員が集まって教科ごとに研究を行う部会研究、教育課程等を研究する特別委員会、小・中学校が連携して課題に取り組む小・中交流会等を行った。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	懲戒処分を受けた職員数	1	1	3	0	人	—
2	教職員研修受講者数	15	36	20	→	人	—

指標の説明

1：懲戒処分を受けた教職員の数

2：初任者、5年・10年経験者研修の受講者数

〈 施策の達成度：B 〉

*教職員としての使命感や倫理観を高めるための研修、職務に応じた研修、現代の教育課題に応じた研修等を実施し、小中学校教職員の資質・指導力の向上を図ったが、懲戒処分を受けた職員数は平成22年度に若干増加したことから、B評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■教職員の福利厚生 of 充実 学校教育課

*教職員の福利厚生については、学校教育に携わる者としての意識の高揚を図るため、北海道教育委員会の任命による教育職員で30年以上在籍し功績があった者に対し、北海道教育委員会が表彰する事務を代行して行った。

*教職員の健康管理については、毎年、教職員の健康診断を行うとともに、人間ドックの受診の促進を図るため、教職員本人、共済組合、市の三者で負担を行った。また、精神性疾患による教職員の休職者が増加傾向にあることから、教職員のメンタル面での支援として道教委によるメンタルヘルスセミナーの実施や時間外勤務時間の縮減等の取り組みを行った。

*教職員住宅の整備については、勇舞中学校の新設に伴う教職員住宅の建設準備を進めた。また、老朽化した教員住宅の建替えについては、平成14年度以降中断しており、要望等に応じて修繕を行ったほか、教職員住宅の老朽度合いや市内賃貸住宅での対応も含め、今後の教員住宅の在り方の検討を進めた。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	長期休暇している教職員数	7	8	6	5	人	83.3

指標の説明

1：病気等により30日以上継続して休職した教職員数

〈 施策の達成度：B 〉

*健康診断やメンタルヘルスセミナー等の実施により教職員の福祉厚生の充実に努めた。また、成果指標「長期休暇している教職員数」は、その目標値をおおむね達成したことから、B評価とした。

(3) 保健・体育の充実

「基本方向」

①保健・体育の充実

生涯にわたり運動に親しめるよう学校体育の充実に努めるとともに、児童生徒の健康と安全を確保するため学校保健や安全教育を充実します。

「基本方向を実現させるための施策」

■学校体育の充実 学校教育課

*学校体育については、学習指導要領に従い、生涯にわたり心身ともに健康で活力ある生活を送るため、各学校では、個々の発達段階や能力、適正に応じた体育活動を行うとともに、体育科の指導計画の改善、体育・運動施設、設備、用具の点検と補修、学校外のスポーツ的行事の情報収集と家庭への提供等を行った。また、市では各種大会への参加に対する補助金等の支援、児童生徒が極めようとしている競技を理由とした学校変更など、体育の充実に努めた。近年、全国的に子どもたちの体力低下が指摘されており、その傾向や児童の体力、運動能力の実態把握に努めたほか、家庭と力を合わせて、早寝早起き朝ごはんの励行や遊ぶ時間の確保など、子供たちの生活習慣の改善に努めた。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	体力テストに取り組んでいる学校の割合	100	100	100	100	%	100.0

指標の説明

1：小中学校 26 校のうち体力テストに取り組んでいる学校の割合

〈 施策の達成度：A 〉

*各学校では、個々の発達段階や能力、適正に応じた体育活動を行ったほか、学校外のスポーツ的行事の情報収集と家庭への提供等を行い、参画機会の充実を進めた。また、成果指標「体力テストに取り組んでいる学校の割合」はその目標値を達成したことから、A評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■学校保健、安全教育の推進 学校教育課

*学校保健については、児童生徒の健康増進や疾病等の早期発見のため、学校保健法に定められた学校結核健診精密検査、学校心臓健診、児童生徒尿ぎょう虫卵検査等の健康診断を実施したほか、学校の管理下で起きた事故に対しては、保険による治療費の給付を行った。また、校舎等で有害な化学物質が児童生徒に影響を与えていないか学校環境影響調査を行った。

*安全教育については、校内の安全管理体制の充実や安全教育、防犯訓練の実施についての学校安全対策要領を定めたほか、犯罪や事故などから児童生徒を守るため、学校、地域、家庭、関係機関と連携して、通学路の安全点検、安全マップの作成、千歳っ子見守り隊、子ども 110 番の家、交通安全教室等を行った。

*性に関する指導については、学習指導要領に則り児童生徒の発達段階に合わせて実施した。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	長期欠席児童生徒数	28	18	20	20	人	100.0
2	災害共済給付件数	1012	752	853	853	件	100.0

指標の説明

1：学校基本調査における年間 30 日以上の欠席者数

2：独立行政法人日本スポーツ振興センターから災害共済給付金が支払われた件数

〈 施策の達成度：A 〉

＊児童生徒の健康増進や疾病等の早期発見のため、交通安全教室などの安全教育を充実した。
また、成果指標「長期欠席児童生徒数」は、その目標値を達成したことから、A評価とした。

「基本方向」

②学校給食の充実

給食センターの衛生管理体制の強化や施設・設備の整備を図るとともに、健康教育の一環としての学校給食指導を推進します。

「基本方向を実現させるための施策」

■衛生管理体制の強化 給食センター

- * 給食センターの衛生管理体制については、市と調理業務等委託者が常に連絡・報告・確認を行い、改善を要する事項については、随時調整会議を行い、意思の疎通を図りながら衛生管理基準を徹底し、食中毒の発生はなかった。
- * 過去に発生した食材偽装事件の対応として、学校給食の食材については、納入業者に対し、仕入先が発行する出荷伝票の写しを添付させ、定期的に出荷元に対し、納品業者への出荷が間違いのないかどうかを確認した。
- * 日常業務において、調理業務等委託者は、毎日、始業前と、昼食終了後に、調理員や設備管理員を含む全体会議を実施し、衛生管理に関係する作業工程や作業動線、使用する設備の確認、改善点などの意見交換を行うとともに、調理業務終了後に責任者会議を定期的開催し、決定事項について、各責任者から、班員に周知し、徹底を図るなど、意見や改善点について、常に業務に反映させた。さらに、給食従事者の研修については、調理業務等委託者は、年4回、本社研修担当部門講師などによる、ノロウイルスやサルモネラ菌、O-157などについての衛生管理等の研修を行い、衛生管理の徹底や調理員の資質向上に努めた。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	異物混入等発生件数	42	20	10	25	件	250.0

指標の説明

1：毛髪や繊維などの異物混入の発生件数

〈 施策の達成度：A 〉

- * 全体会議や給食従事者の研修等の実施により衛生管理体制を強化し、成果指標「異物混入等発生件数」は、その目標値を達成したことから、A評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■給食施設の充実 給食センター

- * 給食センターについては、平成5年度に祝梅地区へ移転しており、老朽化が進んでいることから、屋上防水整備、食器洗浄機更新、空調設備整備、食器類更新などの施設の改修や設備等の更新などの環境改善を計画的に行った。
- * 給食提供業務の一部である給食調理・配膳等業務を民間委託化し、調理専門業者のノウハウを生かした効率的な運営を行った。なお、平成22年度における1日の給食提供数は、小中26校の約9,300食、約205日の給食提供日数となった。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	給食提供達成率	100	100	100	100	%	100.0

指標の説明

1：学校が計画した給食日数に対する提供達成率

〈 施策の達成度：A 〉

* 成果指標は理想的な指標であり、その目標値を達成したことから、A評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■ 学校給食指導の推進 学校教育課、給食センター

* 学校給食指導については、学習指導要領に従い、各学校での家庭科や保健の授業を基本に学校活動全般を通じて食習慣や栄養指導を実施し、各家庭向けの保健だよりや保護者会などで食育指導にかかる家庭との連携に努めた。

* 平成 22 年度末現在、学校給食センターに学校栄養教諭（道職員 3 名）が配置されており、学校給食におけるバランスのとれた献立づくり、調理指導、衛生管理業務、食に関する指導などを行ったほか、食に関する指導を、毎年、学校の求めに応じ小学 4 年生を中心に実施した。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	栄養指導実施率	100	100	100	100	%	100.0

指標の説明

1：小中学校 26 校のうち栄養教諭又は養護教諭による保健・食育指導を行った学校の割合

〈 施策の達成度：A 〉

* 各家庭向けの保健だよりや保護者会などで食育指導にかかる家庭との連携に努めたほか、成果指標「栄養指導実施率」については、その目標値を達成したことから、A評価とした。

(4) 特殊教育の充実

「基本方向」

①教育機会の拡充

児童生徒の障害の程度に応じた教育機会の拡充と適正就学指導を進めるとともに、就学に向けた支援の充実に努めます。

「基本方向を実現させるための施策」

■障害児などの就学機会の拡充 学校教育課、障がい者支援課

*障がい児などの就学機会の拡充については、障がいを持つ児童・生徒が自立と社会参加の促進に必要な教育機関を誘致するため、誘致期成会とともに道立高等養護学校の誘致活動を行った。

*障がい児への教育支援体制の充実に努めるため、特別支援教育専門家チームを設置したほか、市内各小中学校にも特別支援教育に係る校内委員会やコーディネーター、支援員の配置を行った。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	特別支援学級設置校数	6	6	6	6	校	100.0

指標の説明

1：特別支援学級を設置している学校数

〈 施策の達成度：A 〉

*誘致期成会とともに道立高等養護学校の誘致活動を進めたほか、障がい児への教育支援体制の充実に努め、成果指標「特別支援学級設置校数」はその目標値を達成したことから、A評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■就学指導と就学支援の充実 学校教育課

*特別支援教育の体制については、障がいのある児童生徒の適正な就学を図るため、就学指導委員会による障がい程度の判定に基づき、適正な就学と障がいに配慮した教育相談等の支援を行ったほか、保護者等の負担軽減を図るため、学用品費や通学費等の支援及び特殊教育関係団体、特殊学級への支援を行った。また、学習障害や自閉症等の障がいを持つ児童生徒の増加に対応するため、平成19年度に特別支援教育研究会の設置や個別指導計画の策定を行ったほか、各小中学校の特別支援教育支援員を段階的に増員し、就学指導等の推進体制の充実に努めた。

*昭和38年に全国的に珍しい特別支援学級だけの千歳市立北進小中学校を開校して以来、障がいをもつ子供達への特別支援教育に取り組んでおり、北進小中学校を核とした支援のネットワーク化を図った。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	特別支援教育支援員 1 人当たりの障がいのある児童生徒数	45 (H19)	15	15	15	人	100.0
2	特別支援教育に関する市民の満足度	70.2 (H20)	—	—	↑	%	—

指標の説明

1：障がいのある生徒数/特別支援教育支援員の数（H19 配置開始）

2：市民アンケートで「障がいのある児童などの教育環境」に満足・やや満足・普通と回答した人の割合

〈 施策の達成度：A 〉

* 学用品や通学費等を支援し、父母の負担軽減を図ったほか、特別支援教育支援員を段階的に増員し、成果指標「特別支援教育支援員 1 人当たりの障がいのある児童生徒数」はその目標値を達成したことから、A 評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■ 訪問教育対象者への支援の充実 学校教育課

* 訪問教育対象者への支援については、障がいのため通学して教育を受けることが困難な児童生徒に対し、高台小学校に集団教育の場を設け、養護学校による訪問教育が行われた。また、自宅から高台小学校までの交通費の助成を行った。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	訪問教育対象者への支援率	100	100	該当者なし	100	%	—

指標の説明

1：訪問教育児童・生徒に対し通学費助成等の支援を行っている割合

〈 施策の達成度：A 〉

* 訪問教育対象者への支援として、高台小学校に集団教育の場を設け、該当者には交通費の助成など適切な支援を行ったことから、A 評価とした。

「基本方向」

②教育活動の充実

訪問教育・交流教育・体験学習など障害の程度に応じた多様な教育活動を推進するとともに、進路指導を充実し社会的な自立を促します。

「基本方向を実現させるための施策」

■交流教育、体験学習の充実 学校教育課

*交流教育、体験学習については、各特別支援学級で他校交流、普通学級との交流、高齢者施設・地域町内会・居住地との交流を実施したほか、他校普通学級も特別支援学級との交流を積極的に行った。また、総合的な学習の時間では、文化体験や社会生活技術の獲得、日常生活動作のトレーニング、社会のルール等の体験的学習を実施したほか、学習機会の充実のため、移動経費や介助員等の経費等の支援を行った。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	グローバル活動に取り組んでいる学校の割合	100	100	100	100	%	100.0

指標の説明

1：特別支援学級設置校のうちグローバル活動に取り組んでいる学校の割合

〈 施策の達成度：A 〉

*各特別支援において交流教育、体験学習に取り組み、成果指標「グローバル活動に取り組んでいる学校の割合」はその目標値を達成したことから、A評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■進路指導の充実 学校教育課

*進路指導については、児童生徒一人ひとりの個別指導計画を作成し、障がいの程度や個々の能力・個性に応じた適切な進路について保護者と話し合いながら、将来を見据えた判断を行った。また、福祉の個別支援計画や就労支援等との整合を図るため、関係部署と連携を図った。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	適切な進路指導に努めている学校の割合	100	100	100	100	%	100.0

指標の説明

1：特別支援学級設置校のうち保護者の意見や個別指導計画に基づき進路指導を行っている学校の割合

〈 施策の達成度：A 〉

*成果指標「適切な進路指導に努めている学校の割合」は理想的な指標であり、その目標値を達成したことから、A評価とした。

「基本方向」

③学校施設・設備などの整備

障害のある児童生徒に配慮した施設・設備の整備など特殊教育の学習環境の整備を進めます。

「基本方向を実現させるための施策」

■学校施設・設備などの整備 教) 企画総務課

*学校環境の整備については、平成5年度に新築された北陽小学校以降、泉沢小学校、第2小学校の新增築事業により、エレベーター、障がい者対応多目的トイレ、スロープの設置等のバリアフリー化を実施した。また、その他の学校施設についても、障がい者用トイレの設置改修などバリアフリー化に対応した施設づくりに努めた。このほか、教育機器や訓練機器等については、毎年、整備や更新を行った。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	障がい者用機器・設備等の整備校数	6	6	8	8	校	100.0

指標の説明

1：障がい者用機器・設備等を整備している学校数

〈 施策の達成度：A 〉

*成果指標は理想的な指標であり、その目標値を達成したことから、A評価とした。

「基本方向」

④理解・啓発活動の推進

特殊教育や障害のある児童生徒に対する理解と認識を深めるための啓発活動を推進します。

「基本方向を実現させるための施策」

■理解・啓発活動の推進 学校教育課

*啓発活動については、各特別支援学級で行う地域等との交流をはじめ、保護者や地域に暮らす方を対象とする学校見学を行ったほか、市の広報やホームページ等を活用し、特別支援教育に関する市民理解の促進を図った。

*高等養護学校の誘致運動を通じて、期成会総会やメディア等を活用しながら、障がいの種類や理解を深める活動を展開したほか、一部の学校ホームページでは、取組内容や行事等の紹介を行った。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	地域等との交流に取り組んでいる学校の割合	100	100	100	100	%	100.0

指標の説明

1：特別支援学級設置校のうち地域等との交流に取り組んでいる学校の割合

〈 施策の達成度：A 〉

*学校見学や市の広報や市の広報やホームページ等を活用し特別支援教育に関する市民理解の促進を図った。また、成果指標「地域等との交流に取り組んでいる学校の割合」はその目標値を達成したことから、A評価とした。

(5) 高等学校教育の充実

「基本方向」

①教育機会の拡充

就学対象生徒数の動向を見据え、高等学校の適正配置や入学定員の拡大などにより市内における高等学校の教育機会の確保に努めます。

「基本方向を実現させるための施策」

■適正な入学定員の確保 教) 企画総務課

* 高等学校の入学定員の確保については、全道的に中学卒業者が減少しているなかで、入学定員を増加することは難しい状況にあるが、毎年北海道教育庁において策定される「公立高等学校適正配置計画」の地域別検討協議会に出席し意見を述べるなど、適正配置や入学定員の確保要請を行った。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	高等学校入学定員	720	680	720	720	人	100.0

指標の説明

1：市内の高等学校の定員

〈 施策の達成度：A 〉

* 成果指標は理想的な指標であり、その目標値を達成したことから、A評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■修学支援の充実 教) 企画総務課

* 修学支援については、高校などで学習したいという意欲や能力があるにもかかわらず、家庭の経済的事情で学校へ通うことが困難な生徒に対し、奨学金の給付を行った。この奨学金制度については、昨今の低迷する経済状況等から申込数が増加したため、平成18年度から段階的に支給人数や支給額を拡大し、多くの生徒の支えとなるよう努めた。なお、奨学基金は寄付金の積立運用のため、継続するための財源確保が必要となっており、寄付金の募集方法や周知方法について検討を進めた。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	奨学金給付者数 (高校)	15	30	30	30	人	100.0

指標の説明

1：奨学金を交付している高校生の数

〈 施策の達成度：A 〉

* 「奨学金給付者数」は、その目標値を達成した。また、段階的に支給人数や支給額を拡大し、制度の充実を図ったことから、A評価とした。

「基本方向」

②時代や地域ニーズに応える教育の促進

学科や教育内容の充実などを促し、時代や地域ニーズに対応した高等学校教育の促進に努めます。

「基本方向を実現させるための施策」

■時代や地域ニーズに応える学科の充実 教) 企画総務課

* 市内高等学校における多様な学科の充実については、社会の変化と地域のニーズに即した高等学校教育を推進するため、千歳高等学校では、普通科のほか、商業科に代わる国際流通科、国際教養科の設置を行った。また、千歳北陽高等学校では、進学、進学・教養、ビジネスコースという進路に応じた科目選択制の導入、2学期制の実施、生徒海外研修事業の実施などの特色ある教育が行われた。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	市内高校の学科数	5	6	6	6	科	100.0

指標の説明

1: 千歳高校、千歳北陽高校の学科数の合計

〈 施策の達成度：A 〉

* 成果指標は理想的な指標であり、その目標値を達成したことから、A評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■教育内容の充実 教) 企画総務課

* 千歳高等学校では、進路目標にあわせた科目選択、数学の習熟度別授業、外国人講師による英会話教育、上級の資格取得指導、企業と協力して新商品を開発するなどの取組、コンピュータ・語学教室を利用した授業、就労体験などに取り組んだ。また、千歳北陽高等学校では、科目選択制や2学期制の導入のほか、就労体験などのキャリア学習、交通量調査やカンボジア・ベトナムを中心とした国際協力などのボランティア学習、千歳JAL国際マラソンへの全校参加などの心と体の健康学習など特色ある教育が実施された。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	国際流通科、国際教養科の入学者数	120	120	120	120	人	100.0

指標の説明

1: 千歳高校の国際流通科、国際教養科の入学者合計数

〈 施策の達成度：A 〉

* 市内の各高校において、特色ある教育が実施されたほか、成果指標「国際流通科、国際教養科の入学者数」はその目標値を達成したことから、A評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■高等学校と地域の交流・連携の促進 教) 企画総務課

* 高等学校と地域の交流については、キャリア学習等の実施を通じて、千歳高校では、商店街清掃活動や企業等における就労体験（インターンシップ）などに、千歳北陽高校ではJAL国際マラソンへの参加や交通量調査、企業等における就労体験（インターンシップ）などに学校全体で取り組んだ。そのほか、千歳高校のボランティア部では老人ホームや北進小中学校への訪問活動など積極的に多くの市民との交流活動が行われた。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	地域交流に取り組んでいる学校の割合	100	100	100	100	%	100.0

指標の説明

1：インターンシップ等の地域交流に取り組んでいる高校の割合

〈 施策の達成度：A 〉

* 市内の各高校において地域交流や地域学習が行われ、成果指標「地域交流に取り組んでいる学校の割合」は、その目標値を達成したことから、A評価とした。

(6) 高等教育の充実

「基本方向」

①大学・試験研究機関の整備

千歳科学技術大学の整備拡充と教育機能・学術研究機能の充実を促進します。

「基本方向を実現させるための施策」

■国際的な学術研究拠点の形成 科学技術振興課

*国際的な学術研究拠点の形成については、平成10年4月に開学した千歳科学技術大学において、学術研究機能を高めるための光技術を専門とする高度で特色ある教育を行ったほか、平成14年度に千歳科学技術大学に大学院前期課程、平成16年に大学院後期課程が開設し、国際的な学術研究機能が整備され、国際的な学術研究拠点の形成が図られた。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	大学院後期課程の修了者	0	13	14	10	人	140.0

指標の説明

1：大学院博士課程卒業生延べ人数

〈 施策の達成度：B 〉

*千歳科学技術大学において光技術を専門とする教育を行うとともに、平成14年に大学院前期課程、平成16年度に大学院後期課程を開設し、専門家が育成され国際的な学術研究拠点の形成が進んだことから、B評価とした。

「基本方向」

②多様な高等教育機会の確保

各種専門教育機関の育成や誘致など、多様な高等教育機会の確保に努めます。

「基本方向を実現させるための施策」

■各種専門教育機関の育成・誘致 教) 企画総務課

*市内の各種専門教育機関については、日本航空専門学校、北海道千歳リハビリテーション学院の2校の専門学校があり、約900名の学生が在籍しているが、少子化の進行、市外での高等教育機関の選択肢の多様化などにより、高等教育機関の新設立地や定員増は見込めない状況となっており、市内立地の専門学校においては、既存施設を有効活用しながら学科の増設や再編などを行い、教育ニーズに対応した。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	専門教育機関在籍学生数	1,006	862	918	→	人	—

指標の説明

1：日本航空専門学校と北海道千歳リハビリテーション学院の在籍学生合計数

〈 施策の達成度：A 〉

*「専門教育機関在籍学生数」については、学生数を維持することを目標としており達成した。また、各専門学校では、学科の増設や再編を行い、教育ニーズに対応したことから、A評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■修学支援の充実 教) 企画総務課

*修学支援については、大学などで学習したいという意欲や能力があるにもかかわらず、家庭の経済的事情で学校へ通うことが困難な学生に対し、奨学金の給付を行った。この奨学金制度については、昨今の低迷する経済状況等から申込数が増加したため、平成18年度から段階的に支給人数や支給額を拡大し、多くの学生の支えとなるよう変更した。なお、奨学基金は寄付金の積立運用のため、継続するための財源確保が必要となっており、寄付金の募集方法や周知方法について検討を進めた。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	奨学金給付者数 (大学)	5	20	20	20	人	100.0

指標の説明

1：奨学金を交付している大学生の数

〈 施策の達成度：A 〉

*「奨学金給付者数」は、その目標値を達成した。また、段階的に支給人数や支給額を拡大し、制度の充実を図ったことから、A評価とした。

(7) 社会教育の充実

「基本方向」

① 学習機会の充実

生涯各期のライフスタイルに応じた学習機会の充実や家庭や学校、地域が一体となって生活課題・地域的な課題へ主体的かつ積極的な参画を促すなど、学習機会の提供を通じて生涯学習社会の実現に努めます。

「基本方向を実現させるための施策」

■ 地域課題などに関する学習機会の充実 生涯学習課

* 生涯各期にわたる学習機会については、市民が課題とする内容や興味あるものを題材に市民教養セミナー、パソコン講習会、英会話教室などの実施により、市民各層にかかわる幅広い学習機会を提供した。また、参加者については、学んだことを各地域や個々のサークル活動へ結び付けるとともに、個人の生涯学習の一環として捉え、定着したものとなった。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	市民教養セミナーの受講者数	1,362	1,698	1,300	1,300	人	100.0
2	市民が問題解決のために取り組んだ学習内容の理解度	60.1	71.2	76.3	↑	%	—

指標の説明

1：市民教養セミナーの延べ受講者数

2：教育委員会主催の市民セミナー事業のアンケート結果で、よく理解できたと回答した人の割合

〈 施策の達成度：B 〉

* 市民セミナーやパソコン講習会等を実施し学習機会を充実させた。「市民教養セミナーの受講者数」は1,000人を超え、目標値を達成したが、講座の理解度については60～70%台であったことから、B評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■ 高齢者の学習、世代間交流機会の充実 生涯学習課

* 高齢者の学習、世代間交流機会の充実については、高齢者の生活課題に関連した学習機会の提供などにより、高齢者の生きがいがづくりと社会参加を促すため、千歳高星大学と千歳市若返り学園の高齢者学級を実施した。また、校区内で高齢者と子ども、親が集い、三世代のふれあいを通じて世代間の理解を深める交流の機会として、世代交流ふれあい教室を実施した。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	高齢者学級講座の延べ受講者数	3,488	6,525	6,500	6,500	人	100.0
2	高齢者の学習意欲と地域参画意欲の向上度	67.6	61.5	58.4	60	%	97.3

指標の説明

1：千歳高星学園、千歳若返り学園の延べ受講者数

2：教育委員会主催の高齢者対象事業のアンケート結果で、今後の活動に大いに役立つと回答した人の割合

〈 施策の達成度：B 〉

* 受講者数は増加傾向にあるため、高齢者の生きがいづくりの面では評価できるが、事業を通じた積極的な社会参加の促進までには至らなかったことから、B評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■国際化に対応した学習機会の充実 生涯学習課

* 国際化に対応した学習機会については、千歳ユネスコ協会と連携した英語暗唱コンテストの開催や英会話教室を実施し、英語を通して国際理解を深め、国際性豊かな人材の育成を図った。また、千歳ユネスコ協会の事務局を運営し、チャリティーパーティや書き損じハガキの収集活動等を通じて得た募金を、ユネスコ世界寺子屋運動や千歳市奨学基金へ寄附するなどし、ユネスコ活動の普及・推進を図った。平成20年度には、設立40周年として「北海道ユネスコ大会 in 千歳」を開催した。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	事業実施による募金額	714,544	497,674	330,264	300,000	円	110.1
2	英語暗唱コンテストの参加者数	20	41	39	39	人	100.0

指標の説明

1：チャリティーパーティ等のユネスコ事業の実施による募金額（募金は世界寺子屋運動などに寄付している）

2：中高生、一般市民が参加する英語暗唱コンテストの参加者数

〈 施策の達成度：B 〉

* 成果指標は共に目標値を達成し、「英語暗唱コンテストの参加者数」も増加傾向にあるが、チャリティーパーティ等のユネスコ事業の実施による募金額については減少傾向にあることから、B評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■男女共同参画を促す学習機会の充実 生涯学習課

* 男女共同参画を促す学習機会については、女性の社会参加や交流活動の促進のため、子育て講座や市民教養セミナーの実施を通じて、男女平等の視点に立った学習機会の提供を行ったほか、女性の社会的地位の向上等を目的とする女性団体への活動支援を行った。また、男性の意識変革を促す学習機会として、子どもとの体験活動を通じて父親としての自覚や子どものかかわり方などについて学ぶ、男性の子育て講座を実施した。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	女性団体の活動回数	166	190	190	190	回	100.0

指標の説明

1：女性団体協議会の研修会等の活動回数

〈 施策の達成度：B 〉

* 男女共同参画に関する学習機会の充実を図った。また、「女性団体の活動回数」は増加傾向にあり、目標値も達成したが、各事業の実施において、20代などの若い年代や男性の参加が少なかったことから、B評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■ 青少年の学習機会の充実 生涯学習課

* 青少年の学習機会については、主に小学生を対象としたチャレンジ教室や同出前講座、子ども活動支援センター体験教室の開催、指宿市との青少年相互交流事業等の実施により、青少年に自然体験のほか、異なる環境や地域文化の理解、様々な工作や科学実験などの学習機会を提供するとともに、学習の場を通して他の学校の児童生徒や年齢差のある子どもたちの交流を促進した。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	体験学習などの出前講座参加延べ人数	1,690	1,177	870	1,000	人	87.0

指標の説明

1：チャレンジ教室、出前講座などの体験講座の参加延べ人数

〈 施策の達成度：B 〉

* 青少年に対する体験活動事業の参加延べ人数は減少傾向にあるが、このことは、出前講座によるチャレンジ教室を推進した結果、地域で子どもの体験活動を実践する人材が増えたことによる、出前講座の減が要因の一つとして考えられるため、一定の目標は達成したと評価できるものの、目標値には達していないことから、B評価とした。

「基本方向」

②学習支援体制の充実

学習活動を行う団体・グループなどの育成に努めるほか、生涯学習推進体制の確立や指導者など人材の育成・確保を図り、市民の主体的な学習活動を支援します。

「基本方向を実現させるための施策」

■学習活動団体・サークルなどの育成 生涯学習課

* 社会教育活動を行う市民サークル・市民活動団体などについては、団体登録、情報提供、事業の後援、社会教育施設使用料の減免などの活動支援を行ったほか、市民・企業・行政の協働によるまちづくりを進めるため、千歳市民活動交流センター「ミナクル」では、市民活動団体に対しアドバイスや情報提供など、きめ細かな支援を行った。また、「ミナクルまつり」、「ふるさとポケット」、「七夕きらきら祭り」等を開催し、市民団体の育成と活動支援の充実を図った。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	市民活動交流センターの活用数	1,323 (H20)	1,985	2,000	2,000	団体	100.0

指標の説明

1：市民活動交流センター「ミナクル」を活用した延べ団体数（H18 供用開始）（H18・19 未計測）

〈 施策の達成度：B 〉

* 市民活動団体へのきめ細かな支援を行う「ミナクル」を活用した延べ団体数については、その目標値を達成できたが、団体等への育成の効果が判断できなかったことから、B評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■生涯学習活動の促進 生涯学習課

* 生涯学習の推進体制については、学識経験者や社会教育関係団体など市民各層から選出された方々で社会教育委員会を設置し、子ども・子育て部会、成人部会、スポーツ部会、文化部会に分け、会議を実施し、事業内容や諸課題等について検討や評価を行った。また、平成23年度からスタートする生涯学習基本計画策定のため、平成21年度から社会教育事業の調査・研究や計画立案などを行った。そのほか、近隣市の社会教育委員との合同研修会の開催など積極的に社会教育の推進に努めた。

* 生涯学習活動の促進については、「千歳学出前講座」や「ふるさとポケット」など各種事業・教室の充実により、生涯にわたる学習活動を推進した。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	会議開催数	16	13	15	15	回	100.0

指標の説明

1：社会教育委員による部会等の会議開催数

〈 施策の達成度：A 〉

* 各種事業・教室の充実により、生涯にわたる学習活動を推進した。また、学識経験者や社会教育関係団体など市民各層から選出された方々で社会教育委員会を設置し、生涯学習の推進体制の構築を進めたことから、A評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■民間指導者、リーダーの育成 生涯学習課

*多様な人材の育成・確保については、千歳学出前講座「市民編」、社会教育関係団体、人材バンク等の登録事業や学校支援ボランティアを中心としたネットワークづくりを行った。また、みんなで、ひと・まちづくり基金を活用した自主活動事業では、団体、企業や市民活動の経験者など市民で構成する「みんなで、ひと・まちづくり委員会」が、ひと・まちづくりリーダー養成事業として、人材や団体の育成、市民の意識の高揚、市民活動の支援を目的として、委員会が自ら企画・運営する各種学習会やイベント等を開催し、人材の育成・確保、資質の向上を図った。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	ひと・まちづくり委員会主催事業の参加者数	66	58	92	100	人	92.0

指標の説明

1:ひと・まちづくり委員会が主催する学習会における参加者数(委員、一般参加の合計数)

〈 施策の達成度 : B 〉

*ひと・まちづくり委員会が「リーダー養成事業」として実施する学習会への参加者数については、ほぼその目標値を達成できたが、リーダー等の育成への効果が判断できなかったことから、B評価とした。

「基本方向」

③社会教育施設の整備・充実

市民が利用しやすい学習施設の整備や効果的な学校開放を推進し学習の場を確保するとともに、利用者に対する利便性の向上や各施設の有効利用を図るため、各施設間のネットワーク化を進めます。

「基本方向を実現させるための施策」

■利用者の立場に立った施設の整備 文化施設課、スポーツ課

*社会教育施設は、民間活力の導入による利用者へのサービス向上などを図るため、平成18年度から順次指定管理者制度を導入した。導入施設は、千歳公民館、市立図書館、市民文化センター、市民ギャラリーの文化施設のほか、市民スキー場と市営水泳プールを除く体育施設であり、各施設では市の指導のもと、指定管理者による自主事業や各種サービスの充実が図られた。

*市民活動交流センター「ミナクール」の設置をはじめ、市民文化センターや市民ギャラリー、図書館などの施設を計画的に整備、改修した。

*学校体育館の開放については、学校教育に支障のない範囲で、市民が行うスポーツやレクリエーション活動の施設として使用しており、各学校には管理指導員を配置し、学校施設の開放に伴う利用者の危険防止及び施設や設備の管理を行った。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	社会教育施設の整備率	100	100	100	100	%	100.0

指標の説明

1：各年度ごとの計画に基づき整備された社会教育施設の割合

〈 施策の達成度：A 〉

*社会教育施設は、平成18年度から順次指定管理者制度を導入し、指定管理者による自主事業の実施や各種サービスの充実により、利用者のニーズに応じた運営が図られたほか、学校施設の有効利用を図った。また、施設や設備の整備と充実については、各施設の状況を把握し改修などを計画的に進めたことなどから、A評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■社会教育施設のネットワーク化 生涯学習課、文化施設課

*社会教育施設の情報ネットワーク化については、千歳市地域情報化計画と整合を図りながら、市内公共施設のネットワーク化や公共端末の増設など基盤整備を段階的に行った。各施設の指定管理者等は、工夫を凝らした独自のホームページを開設しており、様々なイベント等の情報を発信した。また、生涯学習活動の拠点施設である「ミナクール」や市のホームページにおいて、効率的・効果的に情報の提供を図った。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	情報ネットワーク整備率	80	100	100	100	%	100.0

指標の説明

1：計画に基づき情報ネットワークが整備された施設の割合

〈 施策の達成度：A 〉

* 社会教育に関する情報の効率的・効果的な提供を図ったほか、成果指標「情報ネットワーク整備率」は、その目標値を達成したことから、A評価とした。

「基本方向」

④心を育てる家庭教育の充実

さまざまな学習機会や情報提供を通じて健全な家庭づくりと親の教育力の向上を促し、人間形成の基礎的な役割を果たす家庭教育機能の強化に努めます。

「基本方向を実現させるための施策」

■家庭教育力の向上 生涯学習課

*家庭教育に関する学習機会については、子どものしつけなど家庭教育について見つめ直し、考えて役立ててもらうため、子どもの発達段階や課題に応じたママさん教室やすこやか子育て講座、男性の子育て講座、思春期子育てセミナー、家庭教育セミナー等を実施したほか、千歳市PTA連合会の活動支援を通じて家庭教育力の向上を図った。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	家庭教育講座受講者の理解度	94	97	97	95	%	102.1
2	親としての意識の変化度	41	61	65	↑	%	—

指標の説明

1：教育委員会主催の家庭教育事業のアンケート結果で、「理解できた」と回答した人の割合

2：教育委員会主催の家庭教育事業のアンケート結果で、今後の子育てに参考になると回答した人の割合

〈 施策の達成度：B 〉

*様々な講座を実施しており、事業内容の理解度については目標値を達成したが、家庭教育に関心の低い市民（親）にも参加を呼びかける工夫が必要であったことから、B評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■父親の家庭教育への参加促進 生涯学習課

*男性の家庭教育や男女共同参画を促す学習機会については、男性の子育て講座の実施により、座学だけではなく、子どもとの体験活動を通じて父親としての自覚や子どものかかわり方などについて学ぶ機会を提供したが、参加者数は少ない状況で推移しているため、参加者のアンケートや直接の聞き取りにより調査し、家庭が抱える課題などを参考に、事業内容を検討しながら実施した。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	父親向け各種講座参加者数	24 (H18)	23	80	60	人	133.3

指標の説明

1：男性のための子育て講座等の参加者数（H18 開始）

〈 施策の達成度：B 〉

*男性（父親）の家庭教育への参加促進を図るため、事業の実施に当たっては内容等工夫を凝らし平成22年度については目標を達成したが、計画期間全体の参加者数は少なかったことから、B評価とした。

「基本方向」

⑤公民館機能の充実

市民生活の向上に結びつく公民館活動を推進するため、多様化する学習ニーズや地域的な課題に対応する生涯各期における学習機会の拡大と学習内容の充実を図ります。

「基本方向を実現させるための施策」

■公民館の運営体制の充実 文化施設課

* 公民館は、平成 20 年度から指定管理者制度を導入し、市の指導のもとに指定管理者による運営管理が行われ、公民館教室受講生、利用団体等へのアンケート調査や意見交換などから市民ニーズを把握し、運営に反映した。

* 公民館教室閉講後に、受講生等による実行委員会が主催する「公民館まつり」・「作品展示会」が開催され、受講生の学習成果を発表する機会になるとともに、参加した多くの市民と受講生の交流の場や教室参加への動機付けになるなど、市民が自主的・主体的な学習活動を実践した。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	公民館及び分館利用者数	58,273	41,638	43,000	53,000	人	81.1

指標の説明

1：公民館及び分館の延べ利用者数

〈 施策の達成度：A 〉

* 公民館は、公民館教室受講生、利用団体などへのアンケート調査や意見交換などから市民ニーズを把握し運営に反映している。また、公民館教室閉講後に、受講生等による実行委員会が開催する「公民館まつり」・「作品展示会」が開催され、市民が自主的・主体的な学習活動を実践したことなどから、A評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■公民館事業の充実 文化施設課

* 公民館事業として公民館教室、短期公民館教室、営農地区冬期講座などを実施し受講者の情操や教養の向上など、市民の生涯学習活動の推進と充実を図った。また、公民館教室受講生、利用団体等へアンケート調査等を行い、ニーズの把握に努めた。

* 公民館教室については、教室受講生へのアンケート調査や意見交換などを参考に内容を決定し、毎年パソコン入門、英会話、三味線、太極拳、フラダンスなど様々なジャンルに及ぶ 35 教室について年間各 30 回を開講し充実を図った。

* 指定管理者は公民館の自主事業と公民館ロビーを活用した絵画や絵手紙などの作品展、市役所市民ホールでは公民館教室の写真展を開催し、新たな事業を展開した。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	公民館教室受講生満足度	—	82	83	↑	%	—

指標の説明

1：公民館教室受講生のアンケート調査による満足度（H17 未実施）

〈 施策の達成度：A 〉

* 公民館事業として年間延べ 1,050 回の公民館教室のほか、短期公民館教室、営農地区冬期講座などを実施し、市民の生涯学習活動の推進と充実が図られた。また、公民館教室は、教室

受講生へのアンケート調査や意見交換などを参考に内容を決定するなど、多様化する市民ニーズに対応した様々なジャンルの教室を開講し充実を図ったことなどから、A評価とした。

「基本方向」

⑥図書館機能の充実

市民のニーズにあった情報を的確かつリアルタイムに提供していくため、生活情報や学習情報などの図書資料の拡充、郷土文献資料などの収集・公開の充実を図るとともに、情報提供システムや移動図書館の充実により、図書サービス利用の地域間格差の解消に努めます。

「基本方向を実現させるための施策」

■図書館の市内全域サービス化の推進 文化施設課

*分館機能の整備については、財源の問題もあり整備が望めないことから市内全域39か所を巡回する移動図書館車の運行や、支所及びペウレ千歳駅西口ビル市民サービスセンターでの予約・返却、学校図書館の地域開放などの様々な方策により市内全域サービス化の推進を図った。

*移動図書館車は平成20年度に図書の積載数が2,600冊、バリアフリー対応の仕様により車イスでの利用が可能な機能を有する車輛に更新し、設備の充実を図った。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	市立図書館利用者数	113,683	129,561	132,000	133,000	人	99.2

指標の説明

1：市立図書館の延べ利用者数

〈 施策の達成度：A 〉

*市内39か所を巡回する移動図書館車の運行や、支所及びペウレ千歳駅西口ビル市民サービスセンターでの予約・返却、学校図書館の地域開放などの様々な方策により市内全域サービス化の推進を図った。また、平成20年度に移動図書館車を更新し、図書積載数の増加や、車イスでの利用可能なバリアフリー対応などにより機能の充実を図ったことなどから、A評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■図書館資料の整備・充実 文化施設課

*図書館資料の整備・充実については、指定管理者制度の導入に伴う図書購入費の増額もあり、蔵書の充実が図られた。また、郷土の文献資料として地方新聞資料の電子化を行い館内で公開した。

*傷んだり、内容の古くなった書籍を除籍するなど、蔵書のリフレッシュ化を積極的に進めた。

*図書資料を市民に効果的に提供するため、指定管理者の提案により閉館時間の延長や休館日を月1回にするなどの利用促進に向け積極的な運用が行われた。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	市立図書館蔵書数	293,411	284,726	285,000	300,000	冊	95.0

指標の説明

1：市立図書館の蔵書冊数

〈 施策の達成度：A 〉

* 図書館資料については、図書購入費増額などにより蔵書の充実や蔵書のリフレッシュ化を積極的に進めたほか、地方新聞資料の電子化を行い館内で公開した。また、図書資料を市民に効果的に提供するため、開館時間の延長や休館日を減らすなど、積極的な運営が行われたことなどから、A評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■ 図書館情報システムの充実 文化施設課

* 図書館の情報システムについては、平成 17 年度よりインターネットからの図書検索や借受予約、携帯電話からの図書資料検索・借受予約が実施できるシステムを導入し、さらに平成 22 年度のシステム更新により機能の向上を図った。また、平成 21 年度に一部地方新聞資料の電子化を行い図書館内で公開した。

* 分館機能の整備については財源問題もあり整備が望めないことから、市内 39 か所を巡回する移動図書館車の運行や、支所及びペウレ千歳駅サービスセンターでの予約・返却、学校図書館の地域開放などの様々な方策により分館機能に代わる図書館サービスの充実を図った。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	インターネット等からの貸受予約冊数	4,513	11,309	11,500	11,000	冊	104.5

指標の説明

1：インターネットや携帯電話からの図書の貸受予約冊数

〈 施策の達成度：B 〉

* 情報システムは、インターネットからの図書検索や借受予約、携帯電話からの図書資料検索や借受予約を実施した。また、市内 39 か所を巡回する移動図書館車の運行、支所及びペウレ千歳駅サービスセンターでの予約・返却、学校図書館の地域開放などの様々な方策により分館機能に代わるべく図書サービスの充実を図ったことなどから、B評価とした。

(8) 市民文化の創造

「基本方向」

①文化活動に親しむ機会の拡充

市民がゆとりとうるおいのある心豊かな生活を営むため、既存の文化施設と事業の充実を図り、市民が多様な芸術文化活動に親しみ、楽しむことができる機会の拡充に努めます。

「基本方向を実現させるための施策」

■芸術文化鑑賞機会の拡充 文化施設課

*市民文化センター及び市民ギャラリーは、平成19年度から指定管理者制度を導入し、民間活力により様々な年齢層対象にした幅広いジャンルのコンサートや演劇、寄席、人形劇、絵画鑑賞などの多様な自主文化事業を展開し、芸術文化鑑賞機会の充実を図った。しかし、新型インフルエンザや景気低迷などの社会的な影響もあり、鑑賞者の大幅な増加はなかった。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	各種自主文化事業等の入場者数	9,688 (H18)	13,628	7,800	8,000	人	97.5

指標の説明

1：各種自主文化事業等の入場者数

〈 施策の達成度：B 〉

*市民文化センターや、市民ギャラリー等において様々な年齢層を対象にした幅広いジャンルの多様な自主文化事業を開催し、芸術文化鑑賞機会の充実を図ったが、利用者の大幅な増加に連動しなかったことから、B評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■芸術文化活動への参加機会の拡充 文化施設課、生涯学習課

*市民文化センターや市民ギャラリーは、市民団体の芸術文化活動を実践し発表する場として利用され、市民が芸術文化活動に参加する機会を拡充した。

*文化芸術活動を行っている社会教育関係登録団体の利用料金を減免し、支援した。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	市民文化センター・市民ギャラリー利用者数	194,978 (H18)	191,818	194,000	204,000	人	95.1

指標の説明

1：文化センターと市民ギャラリーの延べ利用者数（H17は文化センターリニューアル工事のため休館）

〈 施策の達成度：A 〉

*芸術文化活動に参加する機会の提供については、市民文化センターや市民ギャラリーが、市民団体の芸術文化活動を実践し発表する場として有効に機能し、市民が芸術文化活動に参加する機会を拡充したことから、A評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■芸術文化活動の情報提供の充実 文化施設課、生涯学習課

* 芸術文化活動の情報提供については市民文化センターのホームページのほか、「市民文化センターだより」を毎月発行し、市内の全戸に配布して市民に芸術文化に関する各種情報を提供した。

* 市内ではフリーペーパーや芸術文化に関する各種情報を収集した情報誌を市民団体が毎月発刊するなど、多様な情報提供が図られた。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	文化センターだよりの発行部数	488,567 (H18)	503,617	505,000	↑	部	—

指標の説明

1：文化情報等を発信する文化センターだよりの発行部数（H17 は休館）

〈 施策の達成度：B 〉

* 芸術文化活動の情報提供については、市民文化センターのホームページのほか、「市民文化センターだより」を毎月発行し、全戸配布した。また、フリーペーパーや市民団体が芸術文化に関する情報誌を毎月発刊するなどの多様な情報提供と千歳市ホームページ「イベントカレンダー」による一元的な情報提供に努めたことから、B評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■文化施設の整備 文化施設課

* 昭和 59 年に開館した市民文化センターは、平成 17 年度にバリアフリー化・各種設備機器の更新・会議室の増設・大ホール椅子更新等の大規模なリニューアルを実施し、施設の充実を図った。また、展示パネルや山台等の備品、舞台床、舞台調光・音響設備、吊物ワイヤーなどについても計画的な改修や更新を行った。市民ギャラリーにおいても、設備の更新を計画的に行った。

* 文化センターのプラネタリウムなどの老朽化が進んでいる設備については、財政的な問題もあることから利用状況などを勘案しながら更新の検討を行っている。

* 市民文化センター及び市民ギャラリーは平成 19 年度から指定管理者制度を導入しており、自主文化事業の実施が増加するなどの成果が挙げられた。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	文化施設の整備率	100	100	100	100	%	100.0

指標の説明

1：各年度ごとの計画に基づき整備された文化施設の割合

〈 施策の達成度：B 〉

* 市民文化センターは、平成 17 年度に大規模なリニューアルを実施し、施設の充実を図ったほか、備品や設備などについても計画的な改修や更新を行った。また、市民ギャラリーについても、設備の更新を計画的に行った。しかし、文化センターのプラネタリウムなどの老朽化が進んでいる設備については、財源の問題もあり利用状況などを勘案しながら更新の検討を行っている状況であったことから、B評価とした。

「基本方向」

②芸術文化活動の促進

市民による自主的な芸術文化活動を促進するため、創作活動や発表の場の提供などにより芸術文化関係団体・サークル等の活性化に努めるとともに、市民の芸術文化活動をリードする人材の育成など市民文化を担う人づくりを進めます。

「基本方向を実現させるための施策」

■市民の芸術文化活動の促進 文化施設課、生涯学習課

*市民による芸術文化活動や発表の場として、市民文化センター・市民ギャラリー・公民館を整備しており、様々なサークルや団体が利用した。施設では市民の芸術文化活動の促進を図るため、登録団体の使用料金を減免するなどの支援に努めた。

*市の文化向上及び振興を図ることを目的に、文化活動の功績をたたえる顕彰の贈呈を行った。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	文化団体組織数	155	178	180	180	団体	100.0
2	文化活動支援に関する市民の満足度	77.2	79.0 (H20)	—	↑	%	—

指標の説明

1：文化活動を行っている社会教育団体の登録団体数

2：市民アンケートで「芸術文化活動の促進」に満足・やや満足・普通と回答した人の割合

〈 施策の達成度：B 〉

*市民による芸術文化活動や発表の場として、市民文化センターなどの文化施設を整備し、様々なサークルや団体が利用した。また、市民の芸術文化活動の促進を図るため施設使用料金を減免するなどの支援に努めたが、文化活動団体構成員の高齢化や後継者の育成などの課題もあったことなどから、B評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■芸術文化関係団体、サークルなどの育成 生涯学習課

*芸術文化関係団体等の育成については、市内の各種文化団体が加盟している文化団体連絡協議会の活動支援を通じて、文化活動の成果を発表する場の提供などにより、各団体の活動を支援するとともに団体間の交流を促進したほか、千歳市民文化表彰を制定し、文化活動を通じて市の文化振興に尽くした市民の表彰を行った。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	文化団体連絡協議会加盟団体数	74	99	100	100	団体	100.0

指標の説明

1：文化団体連絡協議会に加盟している団体数

〈 施策の達成度：B 〉

*千歳市民まちづくりアンケート調査の結果、市民生活において芸術文化活動に関する関心は低い状況（重要度が低く、満足度は中庸）にあるものの、芸術文化関係団体数は増加傾向にあり、目標値も達成したことから、B評価とした。

「基本方向」

③特色ある文化活動の推進

千歳市の都市特性における人材や自然、歴史などの風土を生かした特色ある芸術文化活動を育み「千歳らしい」文化の創造をめざします。

「基本方向を実現させるための施策」

■「千歳らしい」文化活動の推進 文化施設課、生涯学習課

* 「千歳らしい」文化活動については、千歳の自然環境や文化財を生かした文化体験、並びに千歳の歴史を演じた「シコツ越え」の市民劇発表など、市民団体による千歳に根ざした芸術文化活動が行われており、市民の手作りによる創作・発表活動などが展開された。

* 情報発信と異文化との文化交流の推進については、市民団体による文化情報誌の発行や文化団体による文化芸術祭や実行委員会主催の交流事業「ふるさとポケット」などの開催が継続的に実施された。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	文化団体連絡協議会開催事業の参加者数	11,741 (H19)	14,550	15,800	15,700	人	100.6

指標の説明

1：文化団体連絡協議会の開催する事業（文化祭）における参加者数

〈 施策の達成度：B 〉

* ふるさとの特色ある自然や歴史、環境を生かした「千歳らしい」文化活動が市民団体によって広がっており、「千歳らしい文化」を創造する団体や人材が育ちつつある。今後も「千歳らしい」文化活動を担う人材の育成の支援に努めるとともに、さらなる情報発信と異文化交流の推進を図る必要があったことなどから、B評価とした。

(9) 文化財の保護と活用

「基本方向」

①ふるさと風土とのふれあいの推進

市民がふるさとに誇りを持ち心豊かに過ごせるよう、市民自らが地域の自然や歴史、文化とふれあえる場や機会を充実するとともに、地域の風土を生かした個性あるまちづくりを進めます。

「基本方向を実現させるための施策」

■自然や歴史、文化にふれあう場の整備 埋蔵文化財センター

*埋蔵文化財センターについては、閉校した長都小中学校の移転整備を行い、平成22年4月から業務を開始し、常備展示室や企画展示室、体験学習室、講義室などを設置して、郷土千歳の歴史と文化を学ぶ場所となった。旧埋蔵文化財センターについては、当面文化財の収蔵とともに、発掘調査が行われた際の作業場として活用する。なお、郷土資料館の整備については、市民ニーズや緊急性及び財源確保等の観点から、未着手となっている。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	埋蔵文化財センター移転事業の進捗率	0	100	100	100	%	100.0

指標の説明

1：埋蔵文化財センター移転事業の総事業費に対する完了事業費の割合（H21 整備済）

〈 施策の達成度：A 〉

*埋蔵文化財センターは平成22年4月より業務を開始し、埋蔵文化財業務をはじめ常設展示におけるテーマ展示、企画展示ならびに関連する講演会を実施した。郷土資料館の整備については、ハード事業から郷土資料の展示や公開などのソフト事業に切り換えて継続することとしている。また、成果指標の目標値を達成したことから、A評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■自然や歴史、文化にふれあう機会の拡充 埋蔵文化財センター

*文化等にふれあう機会については、移転した埋蔵文化財センターを拠点に文化財等に触れ合う機会の拡充を図ったほか、体験学習事業・企画展示会・講演会・千歳学出前講座、市民版まちめぐりガイドバス及び総合的な学習授業での解説業務を実施し、普及啓発に努めた。また、平成22年度に小学生を対象として石器づくりや火おこしなどの体験学習の開催、市民を対象とした公開講座や展示会の開催、地域の埋蔵文化財に関する冊子の作成などを行った。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	体験学習等の参加者数	712	794	720	720	人	100.0

指標の説明

1：文化財保護普及事業における体験学習や講演会等の参加者数

〈 施策の達成度：A 〉

*企画展示や公開講座、体験型学習会をとおして、自然や文化にふれあう多くの機会を提供できた。また、埋蔵文化財センターを紹介するパンフレットを作成し、市民に埋蔵文化財センターの活動を紹介した。そのほか、成果指標の目標値を達成したことから、A評価とした。

「基本方向」

②埋蔵文化財の保護と活用

埋蔵文化財と各種開発事業の調和に努めるとともに、埋蔵文化財の適切な保護とその活用を図るため、発掘調査や各種研究事業を推進するほか保存管理および公開・展示の促進に努めます。

「基本方向を実現させるための施策」

■埋蔵文化財の発掘調査と整備、活用 埋蔵文化財センター

*千歳の埋蔵文化財については、平成21年3月までに確認した遺跡数は284か所、史跡は国指定2か所（ウサクマイ遺跡群、キウス周堤墓群）、市指定1か所（美々貝塚）となった。また、平成21年度にキウス周堤墓群、平成22年度にはウサクマイ遺跡群の管理団体に指定された。

*発掘調査については、公共事業等にあわせ事前調査を実施し、埋蔵文化財の記録保存を適切に行った。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	指定史跡数	3	3	3	3	件	100.0

指標の説明

1：国及び市指定史跡を適切に保存管理している数（キウス、ウサクマイ、美々貝塚）

〈 施策の達成度：A 〉

*キウス周堤墓群、ウサクマイ遺跡群、美々貝塚の環境整備を実施した。また、市内遺跡の発掘調査及び整理作業を行い、報告書を刊行した。そのほか、成果指標の目標値を達成したことから、A評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■埋蔵文化財の調査研究、保存管理、公開の推進 埋蔵文化財センター

*調査研究と保存管理、公開展示、情報提供などの新たな拠点施設については、平成22年度に新埋蔵文化財センターをオープンし、展示室や体験学習室機能を設けるなど埋蔵文化財の公開活用を図った。また、指定文化財などは図書館の郷土資料コーナーに一部展示したほか、ホームページによる公開を行った。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	重要な財・文化財の指定数	8	9	9	10	件	90.0

指標の説明

1：特に重要な埋蔵文化財や出土文化財を指定し、保護している数

〈 施策の達成度：A 〉

*埋蔵文化財センターを拠点として、文化財の適切な保護・活用を図る調査研究、保存管理、公開展示を行った。また、成果指標の目標値を達成したことから、A評価とした。

「基本方向」

③伝統文化の保存と継承

アイヌ文化をはじめ、先人が築き伝えてきた伝統文化を市民生活のなかで保存・継承していくため、市民に対する理解・啓発に努めながら伝統文化の保護保存・調査研究・公開活用を進めます。

「基本方向を実現させるための施策」

■伝統文化の保存と継承・理解の促進 埋蔵文化財センター

*市指定文化財「泉郷獅子舞」については、当市を代表する郷土芸能であり、泉郷地区を中心に年中行事の一つとして現在も地域の人々が中心となり継承が図られた。「泉郷獅子舞」の保持団体泉郷獅子舞保存会の活動を補助し、市民に対して保存と継承の必要性の啓発を行った。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	保存継承されている郷土芸能の数	1	1	1	1	件	100.0

指標の説明

1：保存と継承を図らなければならない郷土芸能の数（泉郷獅子舞）

〈 施策の達成度：A 〉

*市指定文化財「泉郷獅子舞」の保持団体泉郷獅子舞保存会の活動を補助し、市民に対して保存と継承の必要性の啓発を行い、地域の人々による継承が図られた。また、成果指標の目標値を達成したことから、A評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■アイヌ文化の保護と継承・理解の促進 埋蔵文化財センター

*市の無形文化財にも指定されているアイヌ文化については、アイヌの人々によって古くから伝承されてきた舞踊や歌、語りや工芸技術などがあり、北海道アイヌ協会千歳支部や千歳アイヌ文化伝承保存会を中心に保存伝承され、神事における千歳固有の作法の復元やアイヌ語教室の開催など着実な成果を挙げた。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	保存継承されているアイヌ文化の数	1	1	1	1	件	100.0

指標の説明

1：保存と継承を図らなければならないアイヌ文化の数（アイヌの伝統的芸能と工芸技術）

〈 施策の達成度：A 〉

*北海道アイヌ協会千歳支部や千歳アイヌ文化伝承保存会の活動を補助し、展示、講演会等とおして神事をはじめとするアイヌ文化の伝承の重要性の啓発を行った。また、成果指標の目標値を達成したことから、A評価とした。

(10) スポーツの振興

「基本方向」

①生涯スポーツの推進

スポーツが持つ達成感や楽しさを多くの人々と共有できる生涯スポーツの推進をめざし、健康や安全に関する市民意識を啓発するとともに、地域における各種スポーツ活動組織の育成を図ります。また、多様化・高度化するスポーツニーズに対応するため、広域的視野に立ったスポーツの振興に努めます。

「基本方向を実現させるための施策」

■生涯スポーツの普及・啓発 スポーツ課

*生涯スポーツの普及については、昭和45年にスポーツ都市宣言を行い、積極的にスポーツ参加機会の提供や各種スポーツ大会の支援、スポーツ指導者の育成及びスポーツ施設の整備に取り組んでおり、施設数は他市と比較しても多い。また、千歳市体育協会では、市民ニーズに対応した各種スポーツ振興事業に取り組んでおり、スポーツ活動に対する市民の満足度は比較的高い状況にあった。

*年齢に応じたスポーツ活動の促進を図るため、関係機関とともに各種スポーツ行事を実施し、日常生活の中にスポーツを定着させることを目的に体育指導委員等の配置や養成、スポーツ表彰やスポーツ団体の支援を行ったほか、水泳の普及・促進を目的に、講習会や水泳イベント、プール開放を実施した。なお、千歳JAL国際マラソンなど年々参加者数が増加している行事もあるが、一部行事では参加者数が減少しているものもあることから、開催内容等を見直しながら実施した。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	スポーツ教室の参加者数	3,528	4,544	4,624	4,574	人	101.1
2	スポーツ事業の参加割合	88.6	89.1	89.3	↑	%	—

指標の説明

1：市及び補助団体等が開催するスポーツ事業の参加者数

2：市及び補助団体等が開催するスポーツ事業の定員等に対する参加者の割合

〈 施策の達成度：A 〉

*代替指標「スポーツ教室の参加者数」及び「スポーツ事業の参加割合」は、どちらも目標を達成しており、その他スポーツ表彰事業等の取組についても予定どおり実施されたほか、スポーツ活動に対する市民の満足度は比較的高い状況にあったことから、A評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■スポーツクラブ・団体活動の支援 スポーツ課

*スポーツクラブ・団体活動の支援については、体育協会を通じて加盟するスポーツ団体への支援を行った。また、平成19年2月に当市初の総合型地域スポーツクラブとして創設された「総合型地域スポーツクラブ”こみねっと”」に対して、場所の提供、スポーツ情報の提供、ニュースポーツの道具の貸与などの支援を行った。

*体育指導員及びスポーツ指導員を配置し、スポーツセンターや総合武道館において、市民及び各種団体が行うスポーツやレクリエーションの指導や協力を行った。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	スポーツ団体数	31	31	33	33	団体	100.0

指標の説明

1: 千歳市体育協会に加盟している団体数

〈 施策の達成度：A 〉

* 成果指標は理想的な指標であり、その目標値を達成したことから、A評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■ 広域的なスポーツ活動の推進 スポーツ課

* 指導体制の広域ネットワーク化については、石狩管内や道内の体育指導委員研修や情報交換の場において、定期的にスポーツを取り巻く課題や話題等を共有化し、指導者体制の連携を図った。なお、道内のスポーツ振興を図るため、北海道教育委員会では、各種スポーツ・レクリエーション指導者の発掘、登録及び有効活用を図ることを目的に、「北海道スポーツリーダーバンク」制度を運用しており、平成 22 年度末現在、千歳市は 2 名登録している。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	北海道スポーツバンク登録者数	3 (H18)	2	2	2	人	100.0

指標の説明

1: 北海道スポーツバンクに登録している市民の数 (H18 開始)

〈 施策の達成度：A 〉

* 代替指標「北海道スポーツバンク登録者数」については、目標値を達成することができた。また、管内・全道規模の会議研修会へ体育指導委員を派遣しており、その実績から、A評価とした。

「基本方向」

②スポーツ指導体制の充実

多様化する市民のニーズに応えながら生涯スポーツを振興していくため、豊かで活力のあるスポーツ活動を支援する相談・指導体制の充実を図るとともに、新たなスポーツの開発・振興に努めます。

「基本方向を実現させるための施策」

■スポーツ指導者の育成と組織の充実 スポーツ課

*スポーツ指導者については、体育指導委員及びスポーツ指導員を委嘱し、卓球・バドミントンなど誰もが簡単に始めることのできるポピュラーな種目の参加機会を増やすとともに、教育委員会や体育協会主催事業及び体育施設等で対象者に助言・指導等を行った。また、スポーツ少年団の認定指導員の資格取得のための研修に毎年度20人程度派遣するなど指導員の資質向上に努め、相談・指導体制の充実を図った。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	体育指導員・スポーツ指導員数	58	50	50	53	人	94.3

指標の説明

1：体育指導委員及びスポーツ指導員の合計数

〈 施策の達成度：B 〉

*成果指標「体育指導委員・スポーツ指導員数」は、ほぼ目標値を達成することができた。また、講習会等への派遣や例会会議によって指導者の資質向上とともに、各種事業等への支援体制の充実が図れたと判断し、B評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■新たなスポーツの開発、指導 スポーツ課

*新たなスポーツの開発については、平成18年度から民間ゴルフトーナメントとタイアップし、千歳発信のニュースポーツとしてスナッグゴルフの普及を図るため、体験会や大会を開催するとともに、各種スポーツの出前講座等を実施した。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	スナッグゴルフ普及振興会会員数	—	—	18	18	人	100.0

指標の説明

1：千歳スナッグゴルフ普及振興会の会員数（H22 設立）

〈 施策の達成度：A 〉

*代替指標「スナッグゴルフ普及振興会会員数」については、目標値を達成することができた。また、出前講座のほか、新たにニュースポーツ普及を目的とした市民協働事業を実施したことから、A評価とした。

「基本方向」

③スポーツ施設の整備

市民の日常的なスポーツ活動を促進していくため、それぞれの年齢や体力に応じて、いつでも・どこでも・だれでもがスポーツに親しむことができる多様な施設の整備を推進するとともに、施設運営の弾力化や施設間のネットワーク化など各種施設の利便性の向上に努めます。

「基本方向を実現させるための施策」

■スポーツ施設の整備 スポーツ課

* 老朽化したスポーツ施設を、ニーズを踏まえ、安全性を最優先に計画的に改修や修繕を実施し、スポーツセンターや武道館などの屋内体育施設、市民球場、テニスコートなどの屋外体育施設、学校プールなどを順次改修した。

* アリーナやトレーニング室、会議室など総合的な機能を備えたスポーツセンターは昭和 53 年の開設以来 30 年以上が経過し、老朽化が著しく、また、新耐震基準以前に建築された建物であることから、リニューアル計画を策定し、リニューアル工事の準備を進めた。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	スポーツ施設の整備率	100	100	100	100	%	100.0

指標の説明

1：各年度ごとの計画に基づき整備された施設の割合

〈 施策の達成度：B 〉

* 代替指標「スポーツ施設の整備率」については、目標値を達成することができた。しかし、老朽化した施設が多く、改修には多額の費用を要することから各スポーツ団体の整備要望に対して応えられないものもあったことから、B評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■施設運営の充実 スポーツ課

* 平成 18 年度から武道館・スポーツセンター・屋外体育施設、平成 21 年度から温水プールに指定管理者制度を導入し、民間の手法を用いて、弾力性や柔軟性のある施設の運営を行うことが可能となり、屋内体育館におけるトレーニングアドバイス事業、青空公園スケート場におけるスケートアドバイス事業、温水プールにおけるヘルスアップ事業やアウトドア事業などにおいて、専門的な指導者を配置し、市民のニーズに応えた。

* 学校プール・歩くスキーコースについては市が直営で管理運営し、市民スキー場・市営スケートリンクの管理運営については、民間業者に委託し、スポーツに親しむ場を提供した。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	スポーツ施設利用者数	851, 117	846, 138	845, 000	850, 000	人	99.4
2	スポーツ施設に関する利用者の満足度	—	80.2 (H20)	80.7	↑	%	—

指標の説明

1：市内のスポーツ施設（74 か所）の延べ利用者数

2：スポーツ施設利用者に対するアンケートで「施設・設備」及び「利用手続」の調査項目に満足・やや満足・普通と回答した人の割合

〈 施策の達成度：B 〉

* 指定管理者による弾力的な施設運営の実施により、成果指標「スポーツ施設利用者数」は、その目標値をほぼ達成したが、よりいっそう市民ニーズに対応した管理運営が必要であったことから、B評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■スポーツ施設のネットワーク化 スポーツ課

* スポーツ施設のネットワーク化については、千歳市地域情報化計画と整合を図りながら、平成16年度までに体育協会本部、スポーツセンター、武道館のネットワーク化を行った。また、施設予約システムの導入について検討を行った。

* 情報の一元化や情報提供については、市のホームページにおいて、スポーツセンター、総合武道館、屋外体育施設、温水プールについての施設概要や行事予定、講習会などのスポーツ情報を提供した。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	情報ネットワーク整備率	100	100	100	100	%	100.0

指標の説明

1：計画に基づき情報ネットワークが整備された施設の割合

〈 施策の達成度：B 〉

* 代替指標「情報ネットワーク整備率」については、目標値を達成することができた。しかし、施設予約システムについては、現在の施設予約と市が導入を予定するシステムが合わず、導入するには相当な調整時間が必要なため、見合わせとなったことから、B評価とした。

(11) 青少年の健全な育成

「基本方向」

① 青少年健全育成活動の推進

家庭や学校、地域が一体となって青少年の健全育成活動を推進するとともに、青少年団体などの育成や地域活動への参加の促進、活動の場の整備などに努めます。

「基本方向を実現させるための施策」

■ 青少年健全育成活動の推進 生涯学習課

- * 家庭や地域の教育力の再生については、子どものしつけなど家庭教育について見つめ直し、考えて役立ててもらうため、子どもの発達段階や課題に応じたママさん教室やすこやか子育て講座、男性の子育て講座、思春期子育てセミナー、家庭教育セミナー等を実施したほか、PTA連合会の活動支援を行い、家庭や地域の教育力の向上を図った。
- * 学校、家庭、地域社会の連携による青少年健全育成活動については、青少年育成推進員の設置をはじめ、学校や地域団体などとの情報や協力体制の強化を図り、子どもの活動にかかわる関係団体とのネットワーク整備を行ったほか、ボランティアが主体となって子ども活動支援センターの情報提供・コーディネート機能の充実に取り組んだ。また、地域社会とのかかわりを持つボランティア活動など、子どもの主体性を育む活動の促進のため、子ども会や少年団等の活動支援のほか、異世代や地域間等の交流などの支援を行うとともに、少年リーダーの養成や地域活動を支える指導者の育成にも取り組んだ。
- * 放課後子どもプラン推進事業については、平成20年度にモデル事業校として北栄小学校を選定し、平成21年度から新たな放課後の活動場所である「放課後子ども教室」を開設した。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	青少年育成推進員数	103	121	121	↑	人	—

指標の説明

1：青少年育成推進員委嘱者数

〈 施策の達成度：A 〉

- * 青少年育成推進員の委嘱者数は増加傾向にあるほか、各種セミナー等の実施により家庭や地域の教育力の向上を図った。また、少年リーダーの養成や地域活動を支える指導者の育成にも取り組んだことから、A評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■ 青少年組織の育成と活動の支援 生涯学習課

- * 青少年組織の育成と活動支援については、子どもたちが健全に育つように青少年育成推進員の設置、主に小学生を対象としたチャレンジ教室や同出前講座、子ども活動支援センター体験教室の開催、指宿市との青少年相互交流事業等を行ったほか、ボランティアの協力による体験学習、広報活動及び世代交流ふれあい事業として小学校を中心とした世代間交流を促進する場を設けた。また、千歳青少年教育財団の活動支援を通じて、自然体験学習やジュニアリーダーの育成など、多様な青少年活動の促進を図った。
- * 千歳青少年教育財団が設置・運営する「千歳サケのふるさと館」については、近年入館者の減少が続いており、採算性を重視した事業展開も必要とされていることから、平成20年度に民間事業者による経営診断を実施し、その結果報告等を踏まえ、施設運営のあり方などについて継続して検討を行った。また、公益法人認定や第3セクター改革についても、併せて検討を行った。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	青少年健全育成活動事業参加者数	3,300	2,856	2,800	2,800	人	100.0

指標の説明

1：教育委員会及び青少年育成団体が提供する青少年健全育成事業の延べ参加者数

〈 施策の達成度：B 〉

＊情報提供や事業コーディネートなどを通じ、青少年健全育成活動を実践する個人・団体に対する活動支援を行い、「青少年健全育成活動事業参加者数」は目標値を達成したが、事業実施における参加者数は減少傾向にあることから、B評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■青少年の活動施設の整備 文化施設課、青少年課

＊青少年の活動施設の整備については、文化施設やスポーツ施設のほか、青少年会館、学校開放の活用などにより、青少年の学習や交流などの活動の場を提供した。

＊青少年会館については、青少年や児童生徒などが同じ世代の仲間とスポーツ活動やレクリエーション活動などに利用され、心身の健全な発達を促す施設として利用された。平成18年度から指定管理者制度を導入し施設管理の効率化を図ったほか、設備の計画的な改修を行った。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	青少年会館利用者数	10,618	9,656	11,000	↑	人	—

指標の説明

1：青少年会館の年間延べ利用者数

〈 施策の達成度：B 〉

＊青少年の活動施設の整備については青少年会館のほか、多様な青少年の活動の場となる文化施設やスポーツ施設などの整備がおおむね進んだことから、B評価とした。

「基本方向」

②青少年を取り巻く社会環境の整備

家庭や学校における青少年への指導、地域住民による青少年健全育成の観点から、地域が一体となり青少年を取り巻く有害環境の浄化活動を推進します。

「基本方向を実現させるための施策」

■青少年を取り巻く環境浄化対策の推進 青少年課

*青少年を取り巻く環境浄化対策として、有害図書類については、販売店の立入り調査を年2回実施し、区分陳列や青少年が購入できない旨の掲示などの指導を行ったほか、立入調査員を2名から5名に増員し、北海道青少年健全育成条例に基づき、随時、立入調査や指導及び図書類自動販売機の監視を実施した。また、学校で決められた校外生活指導基準等に基づき、青少年の指導に取り組んだほか、北海道健全育成条例に基づき関係機関と連携を図りながら、有害環境の浄化を進めた。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	有害環境の指導件数	20 (H20)	4	0	0	件	100.0

指標の説明

1：立入調査等による指導件数

〈 施策の達成度：A 〉

*北海道健全育成条例に基づき関係機関と連携を図りながら、有害環境の浄化を進めた。また、立入調査を実施した結果、有害図書類の全ての販売店で、北海道青少年育成条例に反するような陳列はなく、指導する場面はなかった。立入調査の効果が表れていると考えられることから、A評価とした。

「基本方向」

③青少年の非行防止と指導体制の充実

青少年指導センターの充実や指導者の育成を図るとともに、関係機関・団体などの連携のもと、青少年の非行防止のための相談・指導体制を充実します。

「基本方向を実現させるための施策」

■青少年指導センター活動の充実 青少年課

* 青少年育成指導については、非行防止のため、行政機関、育成団体等と連携を図りながら、毎年、青少年対策総合計画を作成し、PTA、地域、学校等に協力を得ながら、研修会や啓発活動を行った。また、校外生活指導基準等に基づく指導及び北海道健全育成条例に基づく有害環境の浄化を図り、市民には広報などを通じて周知を行った。

* 巡回指導については、非行防止の観点を中心にっており、青少年指導員による地区内育成ふれあい活動、地域のおじさん・おばさん活動及び非行防止活動として、専門指導員や青少年指導員による巡回指導、夜間指導、列車指導等を行った。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	指導センターの非行防止における活動人数	768	946	935	1000	人	93.5
2	青少年指導件数	228 (H20)	261	214	↓	件	—

指標の説明

- 1：専門指導員及び特別指導員による巡回指導、夜間指導、特別指導の延べ活動人数
2：青少年指導センターの指導員が青少年を指導した件数

〈 施策の達成度：A 〉

* 成果指標1の「指導センターの非行防止における活動人数」はほぼ目標を達成した。また、成果指標2の「青少年指導件数」は減少しており、巡回指導等の成果があったものと考えられることから、A評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■青少年の相談活動の充実 青少年課

* 青少年専門指導員などによる相談・指導については、電話等による相談対応のほか、青少年等への声かけなどの育成指導を街頭で継続的に行った。カウンセラーの資格、若しくは長年の経験がないと相談者に対して的確なアドバイスができないことから、青少年指導センターの専門指導員、青少年指導員を対象に会議、講習会等を開催し、資質の向上を図るとともに、各種相談員や関係機関と連携をしながら、青少年の相談・指導を行った。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	育成指導件数	837	542	190	200	件	95.0

指標の説明

- 1：育成指導(個別指導・面接)を行った件数

〈 施策の達成度：B 〉

*平成 21 年度までは、育成指導件数については問題の無いと思われる青少年への声かけや面談も育成指導件数として数えていたが、平成 22 年度からは、問題のありそうな青少年との個別指導・面談のみを育成指導件数として数えていることから、大幅に件数が減少している。しかし、育成指導は、例年同様に鋭意行っており、活動が後退している状況ではなかったことから、B 評価とした。

「基本方向」

④自然環境を生かした体験活動の推進

青少年活動の拠点として、(財)千歳青少年教育財団との連携協力を通じて、自然教育力を生かした野外活動プログラムの開発や多様な体験活動機会の充実を図るとともに教員との人的交流など学社融合を促進します。

「基本方向を実現させるための施策」

■自然体験、科学探究活動の充実 生涯学習課

*自然体験、科学探究活動については、千歳青少年教育財団の活動支援を通じてシニアリーダー、ジュニアリーダーを中心とした野外活動やキャンプ大会、同財団が設置・運営する「千歳サケのふるさと館」を活用したサケに関する学習会や自然観察会、サケの採卵・稚魚放流やサケ皮クラフトづくり、科学の実験など様々な体験事業を実施し、自然のしくみを科学的に探究する活動の充実を図った。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	野外体験学習の講座回数	30	46	48	47	回	102.1

指標の説明

1:「千歳サケのふるさと館」における野外活動等の講座開催数

〈 施策の達成度：A 〉

*「千歳サケのふるさと館」の持つ教育的機能などを使い、千歳の自然等について科学的に探究しながら、人間性や感動する心などを育む様々な体験事業を実施しており、成果指標の目標値も達成したことから、A評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■学社融合プログラムの開発と施設整備 生涯学習課

*学社融合プログラムについては、青少年の週末活動等の支援策として、ボランティアフォーラムの開催、市民ボランティアが運営する子ども活動支援センターの設置、チャレンジ教室、出前講座などを実施した。また、北陽小学校と千歳中学校で、通学合宿（石狩管内における学社融合推進モデル事業）を実施し、環境と職業をテーマにした学校教育活動を通じて、地域や行政が一体となった取組を行った。

*教育関係機関との連携、施設活用については、千歳青少年教育財団との連携により、総合的な学習の時間等において、同財団が設置・運営する「千歳サケのふるさと館」を活用したサケに関する学習会、自然や職業体験学習などを実施したほか、同館の学芸員によるサケや千歳の自然などに関する出前講座を実施した。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	学校教育における学校外での体験学習の回数	64	60	50	50	回	100.0

指標の説明

1:総合的な学習の時間等で「千歳サケのふるさと館」を活用した回数

〈 施策の達成度：B 〉

*教育関係機関との連携、施設活用により、総合的な学習の時間等において様々な体験学習プログラムを実施し、目標値も達成したが、「千歳サケのふるさと館」を活用した体験学習機会は減少傾向にあることから、B評価した。

「基本方向を実現させるための施策」

■野外体験学習機会の充実 生涯学習課

*野外体験学習機会の充実については、心身ともに健全な青少年を育成することを目的に昭和44年に設置した「青年の家支笏湖青少年研修センター」において、支笏湖とそれを取り囲む樽前山、恵庭岳などの山々を一望できる景勝の地を背景に団体宿泊による共同生活体験のほか、春のサイクリング、おもしろ自然教室、秋の登山教室、中高生スノーボード教室などの自然体験事業を行った。しかし、施設の老朽化や台風被害もあり、同センターは平成16年度をもって閉鎖し、その後は、千歳青少年教育財団の活動支援を通じてシニアリーダー、ジュニアリーダーを中心とした野外活動や、子ども会など関係団体との連携によるキャンプ大会、同財団が設置・運営する「千歳サケのふるさと館」を拠点とした自然観察会等の野外体験学習や宿泊体験事業の実施などにより、野外活動機会の充実を図った。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	野外体験学習の参加者数	1,655	1,444	1,530	1,500	人	102.0

指標の説明

1:「千歳サケのふるさと館」を拠点とした野外体験学習等の参加者数

〈 施策の達成度：B 〉

*千歳青少年教育財団の活動支援を通じて、様々な野外体験学習機会を提供し、目標値も達成したが、参加者数は減少傾向にあることから、B評価とした。

3-3 人とふれあう北の交流都市

(1) 人と地域が育む国際交流の推進

「基本方向」

①国際交流都市としての基盤づくり

国際化に対応した都市基盤の整備・充実を図るとともに、市民や民間団体、地元企業、行政などがそれぞれの役割を分担し、連携を図りながらさまざまな分野における国際交流機会の拡充に努めます。

「基本方向を実現させるための施策」

■国際化に対応する都市機能の整備 市民協働推進課

*国際化に対応した都市機能の整備については、新千歳空港の整備促進に向けた要望活動を展開し、国際旅客ターミナルビルについては平成22年3月に供用開始された。また、国際交流施設については、今後の国際交流活動の成熟や高まりを通じて、民間団体が原動力となり展開されることを期待しており、国際関係機関の誘致についても、交流施設の建設とあわせて内部的な検討を行いつつ、必要と判断された場合は要請活動を進めることとした。

*市民病院、防災学習センター、公園等の公共施設や支笏湖ビジターセンター、樽前山登山道等の観光施設、そのほか道路標識等において外国語標記の案内板の設置を行った。また、公共施設や案内板等の新設・改修時には、関係部署等と調整し、外国語標記の設置を推進した。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	外国語表記の要望に対応した件数	3	5	6	↑	件	—

指標の説明

1：国際交流担当が外国語表記の要望に対応した件数

〈 施策の達成度：C 〉

*代替指標「外国語表記の要望に対応した件数」については、この指標のみをもって施策の達成度を評価することは難しいが、公共施設や案内板等の外国語標記については、おおむね施策が達成されているものとする。しかし、滞在・研修型の国際交流施設の建設や国際関係機関の誘致については具体的な検討に至らなかったことから、C評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■世界に開かれた交流事業の推進 市民協働推進課

- * 姉妹都市や友好親善都市との交流については、アメリカ合衆国のアラスカ州アンカレジ市、鹿児島県指宿市と姉妹都市提携を結んでいるほか、ノルウェー王国のコングスベルグ市、平成 16 年には新たに中華人民共和国の吉林省長春市と友好親善都市提携を結び、市民や学校・民間団体における交流が行われた。平成 21 年には、姉妹都市提携 40 周年を記念して市民訪問団がアンカレジ市を訪問し、友好の絆を深めた。また、千歳観光連盟と大韓民国済州道観光協会、大韓民国空港高等学校と千歳高等学校がそれぞれ姉妹提携を結び相互交流を行った。
- * 国際会議の誘致については、デジタルシティ千歳会議、ITU-T 国際会議、JTC1/S C25 千歳会議など、平成 13 年から平成 22 年まで計 15 回の国際会議を誘致・開催した。直近では、平成 20 年度に北海道洞爺湖サミットにあわせて、外務省・ユニセフ協会、市民団体等と連携して「ジュニア・エイトサミット 2008 千歳支笏湖」を開催したほか、平成 22 年度には、第 12 回日中韓三カ国環境大臣会合を環境省、北海道、関係団体等と連携して開催した。また、毎年度、千歳光科学国際フォーラムを開催した。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	国際交流、都市間交流に関する市民の満足度	20.5	15.1 (H20)	—	↑	%	100.0

指標の説明

1：市民アンケートで「国際交流、都市間交流」に満足・やや満足と回答した人の割合

〈 施策の達成度：A 〉

- * 成果指標は理想的な指標であり、平成 17 年度実績値に比べ、平成 21 年度実績値（20 年度調査値）はやや下降しており、平成 22 年度も調査していないが、「ジュニア・エイトサミット 2008 千歳支笏湖」をはじめ 10 年間で計 15 回開催された国際会議は、市民がボランティア等として国際交流事業に参加する大きな契機となったこと、また、千歳市市制施行 50 周年を記念して市民団体による中国長春市訪問交流事業が行われ、さらに、米国アラスカ州アンカレジ市との姉妹都市提携 40 周年を記念して市民訪問団による米国アンカレジ市訪問交流事業が行われるなど、人的・文化的な交流も拡大・充実したことから、A 評価とした。

「基本方向」

②市民による国際交流の推進

国際交流に対する市民の意識を高揚しながら、国際社会で積極的に行動する人材や地域において国際交流を推進する人材の育成を進めます。また、市民参加型の国際交流活動や国際協力活動を支援し、国際社会における地域アイデンティティを確立していきます。

「基本方向を実現させるための施策」

■国際性豊かな人材の育成 市民協働推進課、学校教育課

- * 国際性豊かな人材の育成については、千歳国際交流協会が、海外派遣事業や国際交流体験ツアーを実施したほか、市内の国際交流事業に対する支援を行った。
- * 市内小学校では市民協働事業として採択された講師を含め、外国語指導助手による英会話指導を実施するとともに、中学校では外国人による講師を配置する外国青年招致事業を実施し、国際理解や外国人と触れ合う交流機会の充実を図った。また、生徒の交換留学やホームステイ、姉妹校交流については、アメリカ合衆国アンカレジ市サンドレイク小学校と千歳小学校の児童が、訪問事業の中で互いにホームステイを行ったほか、姉妹校の提携が結ばれている大韓民国空港高等学校と千歳高等学校間でも、互いにホームステイが行われた。そのほか、市民団体であるライオンズクラブやセントラルロータリークラブでも交換留学生の受け入れが行われた。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	千歳国際交流協会実施事業参加数	176	259	262	230	人	113.9

指標の説明

1：千歳国際交流協会が実施する事業への参加者総数

〈 施策の達成度：A 〉

- * 代替指標「千歳国際交流協会実施事業参加数」については、目標値を達成した。そのことに加え、小中学校での英語学習が充実し、子どもたちの英語能力の強化が図られていること、また、学校及び市民団体によるホームステイや交換留学が積極的に行われ、子どもたちの国際的な視野が広がり、国際理解の醸成に一定の効果が見られたことから、A評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■ホスピタリティあふれる受け入れ体制の整備 市民協働推進課

- * 市民ボランティアの育成については、姉妹都市・友好親善都市との交流事業、市民団体や学校による交流事業、国の青少年交流事業などにおいて、市内のホストファミリーボランティアや通訳ボランティアに情報を提供して受入・参加を促し、ボランティアとして経験を積んでもらうことで資質の向上に努めた。
- * 国際交流活動に関するさまざまな情報の提供については、千歳国際交流協会において平成 22 年から、市内の企業や学校、国の機関等が実施する国際交流事業の情報を一元化し、隔月で情報紙を作成し、広く市民に情報提供した。また、ボランティア団体のネットワーク化については、各種交流事業への参加を通して、団体同士のネットワークの構築が図られた。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	ホストファミリーボランティア登録家庭数	42	53	56	↑	家庭	—

指標の説明

1：ホストファミリーボランティアの登録家庭の数

〈 施策の達成度：B 〉

* 代替指標「ホストファミリーボランティア登録家庭数」については、増加しており、目標を達成した。また、情報発信の強化により、ボランティア活動に参加しやすい環境づくりと受け入れ体制の強化が図られたことから、B評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■ 市民交流、国際協力の事業展開 市民協働推進課

* 市民団体や国際交流団体の育成・支援については、団体が実施する国際交流事業への支援や助成を行い、各種海外派遣事業の推進、交流使節団の受入れについては、千歳国際交流協会が青年海外派遣事業を行ったほか、学校等が行う海外派遣事業への支援や助成を行った。また、市民団体による海外からの研修員や各種交流使節団の受入れに対しても出前講座の開催や交流事業への助成等の支援を関係部署と調整を図りながら行った。

* 国際協力に関する理解の普及や国際交流団体の育成については、千歳国際交流協会の実施する国際交流体験ツアーにおいて、JICA青年海外協力隊派遣事業を紹介し、国際協力活動への理解を推進したほか、JICA青年招聘事業地方プログラム等への支援を行った。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	国際交流事業における相互訪問者数	265	330	350	↑	人	—

指標の説明

1：国際交流事業における相互訪問（派遣・受入）者の総数（姉妹都市交流分を除く）

〈 施策の達成度：A 〉

* 代替指標「国際交流事業における相互訪問者数」は、この指標のみをもって施策の達成度を評価することは難しいが、海外派遣事業の推進や研修員・視察団の受入拡大を測る一つの指標と捕らえることができ、指標の実績値が増加したことから、施策はほぼ目標を達成したと考えられる。そのほか、市民団体や学校等が行う国際交流事業への支援体制が整ったこと、国際理解の普及に向けた積極的な取組が行われたことから、A評価とした。

「基本方向」

③外国人が暮らしやすいまちづくり

在住外国人、転入された外国人に対し、学習環境や相談体制の充実に努めるなど、快適に過ごせる生活環境の整備を進めます。

「基本方向を実現させるための施策」

■快適な生活環境の創出 市民協働推進課

* 在住外国人のための快適な生活環境の創出については、外国人のための生活ガイド作成ワークショップやイベント等でアンケート調査などを行い、利用者や参加者の声を生かす取組を行っており、平成 20 年度に外国人向け生活情報ガイドブック（英語版・中国語版）を作成し、市民課窓口等で配布した。

* 外国人向けの情報サービスについては、千歳国際交流協会の英語版ホームページで、助成制度や交流イベントなどの情報提供を行った。また、在住外国人相互の交流機会の充実にについては、千歳国際交流協会が、市内在住外国人及び市民が集うイベント「国際交流の夕べ」の開催など、交流の促進を図った。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	外国人登録者数	332	350	358	↑	人	—

指標の説明

1：各年 12 月 1 日現在の外国人登録者数

〈 施策の達成度：B 〉

* 代替指標「外国人登録者数」については、この指標のみをもって施策の達成度を評価することは難しいが、在住外国人の増加・減少は外国人の暮らしやすさを測る一つの指標と捕らえることができ、目標を達成した。そのほか、市内在住外国人が増えていること、外国人のための生活情報ガイドブックを作成したこと、並びに在住外国人のネットワークを広げる取組を実施したことなどから、B 評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■学習環境と相談体制の充実 市民協働推進課

* 外国人が学びやすい学習環境の充実にについては、外国人子弟の通学に関する相談があった場合、関係部署や学校、通訳ボランティア等と連携し、相談への対応を行った。また、生活環境や健康・就学問題などに対応する相談体制の充実にについては、平成 21 年度から市民協働推進課に国際交流推進員 1 名を配置し、外国人からの電話、来庁による相談対応に当たるとともに、相談の内容に応じて関係部署やボランティアと連携するなど、サポート体制の強化を図った。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	通訳ボランティア団体会員数	75	72	72	72	人	100.0

指標の説明

1：市内の通訳ボランティア団体の会員数

〈 施策の達成度：B 〉

*代替指標「通訳ボランティア団体会員数」については、この指標のみをもって施策の達成度を評価することは難しいが、在住外国人へのサポート体制の充実を測る一つの指標と捕らえることができ、目標値を達成した。また、国際交流員の配置により、外国人からの相談体制の強化を図ったほか、通訳ボランティア団体への情報提供や団体の活動支援を通じて団体との連携強化を図ったことから、B評価とした。

(2) 多様な地域間交流の推進

「基本方向」

①多様な交流ネットワークの形成

姉妹都市交流など既存の交流事業を推進していくとともに、幅広い分野やレベルにおける交流を促進し、多様な交流ネットワークの形成に努めます。

「基本方向を実現させるための施策」

■多様な交流ネットワークの形成 市民協働推進課、観光振興課、農業振興課

*多様な交流ネットワークの形成については、学校や民間団体等が実施する国際交流事業の情報を集約し情報紙で発信するなど、交流機会の提供に努めた。また、都市間や異世代の交流事業・交流機会の拡大については、スカイ・ビア&YOSAKOI祭や千歳・支笏湖氷濤まつりによるイベント交流、児童・生徒の相互訪問や作品交流による学校間交流、マラソン大会によるスポーツ交流、職員の相互派遣による人事交流などの姉妹都市交流をはじめ、ノルウェー王国コングスベルグ市や中国長春市などの友好親善市との交流、高校が実施する訪問・交流事業、市民団体が実施する交換留学等を通して、都市間・異世代間の交流の推進を図った。

*グリーン・ツーリズム促進事業として、とりたて野菜まつり、食育講座、食と農の交流会、修学旅行等受入等を行い、都市の農村の交流を推進した。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	姉妹都市の相互訪問者数	91	178	99	↑	人	—

指標の説明

1：姉妹都市間の相互訪問（派遣・受入）者の総数

〈 施策の達成度：B 〉

*代替指標「姉妹都市の相互訪問者数」については、この指標のみをもって施策の達成度を評価することは難しいが、交流ネットワークの形成を測る一つの指標と捕らえることができる。平成21年度の実績値が大きいのは、姉妹都市アンカレジ市との提携40周年及び友好親善都市長春市との提携5周年が重なったことによるもので、通常年の交流人数としては、目標をおおむね達成した。そのほか、姉妹都市をはじめ、学校や市民団体でも着実に交流活動が推進されたことから、B評価とした。

「基本方向」

②交流企画の推進

地域性を生かした交流事業の企画、各種大会・会議などの誘致・開催を進め、交流人口の拡大に努めます。

「基本方向を実現させるための施策」

■魅力ある交流企画の推進 スポーツ課、観光振興課、生涯学習課

*平成19年7月に市内の関係団体・機関などで「ウエルカム推進懇話会」が設置され、これまで、合宿や大会などで市を訪れる人の歓迎をどのようにするかについて情報交換などを行い、仕組みづくりなどの課題について協議した。当市は交通の要衝としての良好な利便性と充実した施設が整っていることから各種大会開催は増加傾向にある。

*体験学習プログラムの開発については、世代交流ふれあい教室、千歳市・指宿市青少年相互交流事業など、多くのプログラムを取り入れた。

*平成19年度から市内に宿泊するスポーツ合宿団体の体育施設利用料金を半額にするとともに、市民の歓迎ムードを高めるため、合宿団体名や合宿期間等をホームページに掲載（体育協会）し、合宿団体が宿泊するホテル・旅館等に歓迎短冊を掲示した。

*平成21年度から陸上長距離競技練習に使用できる市内ロードコース5か所に距離表示を行うとともに、コースマップを作成し、合宿団体や市内旅館等へ配布するなど合宿環境の整備を進めた。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	大会、研修会等開催数	81	146	153	↑	回	—

指標の説明

1：スポーツ大会を含めた部会、大会、研修会等の開催数

〈 施策の達成度：B 〉

*成果指標「大会、研修会等開催数」については、増加傾向にあり、目標を達成したが、大会参加者や合宿団体と市民との交流が必ずしも多いとは言えない状況である。しかし、体験学習プログラムの開発については、多くの体験学習プログラムの実施により、交流事業の充実が図られたことから、B評価とした。

「基本方向を実現させるための施策」

■大会・会議などの誘致 観光振興課、市民協働推進課

*コンベンション機能については、大規模なホテルや千歳科学技術大学等のコンベンションなどの受け入れ条件が揃っており、関連機関などとの連携や機能整備により、コンベンションの受入れ環境の充実を図った。また、イベントなどを活用した情報発信のほか、ブログや口コミなど新しいツールを活用した情報発信など、各種媒体を活用した情報発信を行うとともに観光事業者等と連携して、閑散期の宿泊者の増加を目的に観光客の来訪やスポーツ合宿、大会などの誘致宣伝活動に取り組んだ。

*国際会議の誘致については、千歳光科学国際フォーラムを毎年度開催したほか、平成20年度には北海道洞爺湖サミットにあわせて、「ジュニア・エイトサミット2008千歳支笏湖」、平成22年度には、第12回日中韓三カ国環境大臣会合を開催した。

〈 成果指標の達成率 〉

番号	成果指標名	H17 初期値	H21 実績値	H22 見込値	H22 目標値	単位	達成率 (%)
1	コンベンション開催数	4	1	2	2	回	100.0

指標の説明

1：国際会議及び参加者 250 人以上の会議開催数

〈 施策の達成度：B 〉

*代替指標「コンベンション開催数」は、目標値を達成することができた。また、国際会議の誘致として、北海道洞爺湖サミットにあわせて、「ジュニア・エイトサミット 2008 千歳支笏湖」などを開催した。しかし、観光面においては、観光客の来訪やスポーツ合宿などの効果的な誘致宣伝活動が不十分であったことから、B評価とした。